

**TMDU**  
OVERVIEW 2011

編集発行:  
国立大学法人 東京医科歯科大学広報室  
〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45  
電話:03-5803-5011  
ホームページ:<http://www.tmd.ac.jp/>

平成23年度  
国立大学法人  
東京医科歯科大学  
概要

国立大学法人  
**東京医科歯科大学**  
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY  
概要 | OVERVIEW 2011



知と癒しの  
匠を  
創造する



# ミッション Mission

## 知と癒しの匠を創造する

Cultivating Professionals with Knowledge and Humanity

患者や家族の方から「ありがとう」のひと言がいただける。

「あなたでよかった」と笑顔を投げかけていただける。

そのために、高度な医療の知識と卓越した技術を身につけます。

ひとの苦しみや悲しみを受けとめ、思いやれるところと倫理観を持ちます。

本学に学び、教育・研究・診療に携わるすべての人が、

「知と癒しの匠」への道を歩みつづけられるよう支えます。

これが、東京医科歯科大学の掲げるミッションです。

## 教育理念

幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

自己問題提起、自己問題解決型の想像力豊かな人材を養成する

国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

### 東京医科歯科大学 シンボルマーク

この図は本学のシンボルマークであり、これには次のような意味が含まれております。



1. 東京医科歯科大学の発展の歴史と、その将来へのあるべき姿を、本学の所在地、湯島にちなんで、湯島天神一学問の神一の象徴である梅の花になぞらえて図案化したものです。

2. 花の芯に当たる中央の輪は、旧東京高等歯科医学校の校章であり、これを基盤として現在の本学があることを示しております。

3. 5枚の花弁は、医学部、歯学部、教養部、生体材料工学研究所、難治疾患研究所の5部局を表し、それらが、がっちりとスクラムを組んで花を咲かせているという本学の姿を表現しています。

4. 5枚の花弁は、将来に向かって無限に躍進するという意図を表すために花弁の外側を肉厚にし、これによって躍動的な感覚を盛り込んでおります。

### 東京医科歯科大学 ロゴマーク



本学の欧文表記 TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY の頭文字をとった TMDU を図案化し、これを本学のロゴマークとします。これには次のような意味が含まれております。

1. 「M」と「D」をつなげることで、医学と歯学の融合を表現しています。
2. 太いラインは「自信」や「強さ」を表し、本学の伝統を表現しています。



国立大学法人  
東京医科歯科大学

学長からのメッセージ ..... 02

### 沿革・組織

沿革／歴代校長及び学長 ..... 04  
運営組織等 ..... 06  
教育研究組織等 ..... 08

### 大学院・学部等

大学院 医歯学総合研究科 ..... 10  
大学院 保健衛生学研究科 ..... 12  
大学院 生命情報科学教育部／疾患生命科学研究所 ..... 13  
学部 医学部 ..... 13  
学部 歯学部 ..... 14  
教養部 ..... 15  
生体材料工学研究所 ..... 16  
難治疾患研究所 ..... 17  
図書館情報メディア機構 ..... 18  
全国共同利用施設、学内共同教育研究施設、保健管理センター、  
スチューデントセンター ..... 19  
研究・産学連携推進機構 ..... 20  
附属病院 ..... 21

### 特色ある教育・研究

グローバル COE プログラム ..... 24  
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム（総合的連携型） ..... 25  
大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム ..... 25  
看護師の人材養成システムの確立 ..... 26  
組織的な大学院教育改革推進プログラム ..... 26  
がんプロフェッショナル養成プラン ..... 27  
大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成 ..... 27  
科学技術振興調整費〔国際共同研究の推進  
（先進技術を基盤とした地域共通課題解決型共同研究）〕 ..... 28  
地球規模課題対応国際科学技術協力事業 ..... 28  
日中韓フォーサイト事業 ..... 29  
イノベーションシステム整備事業（大学等産学官連携自立化促進プログラム） ..... 29  
日本学術振興会〔最先端・次世代研究開発支援プログラム〕 ..... 30  
特別経費 ..... 32  
脳科学研究戦略推進プログラム  
課題E「心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子」 ..... 33  
特色ある教育・研究一覧 ..... 33

### 国際交流

ガーナ・野口記念医学研究所共同研究センター、  
チリ国におけるラテンアメリカ共同研究拠点の形成、タイにおける拠点形成 ..... 34  
パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携 ..... 36  
インベリアルカレッジとの交換留学プログラム ..... 37  
国際交流協定校／学部等間協定 ..... 38  
外国人留学生在籍者数 ..... 39

### 統計

職員数 ..... 40  
学生数（大学院） ..... 41  
学生数（学部） ..... 42  
学位授与数 ..... 43  
附属教育施設 ..... 43  
平成23年度科学研究費補助金採択状況 ..... 44  
受託研究費等受入状況 ..... 44  
平成23年度厚生労働科学研究費補助金採択状況 ..... 44  
寄附講座・寄附研究部門一覧 ..... 45  
平成23年度収入・支出予算 ..... 45

### キャンパス概要

土地・建物及び所在地、関係施設位置図 ..... 48

# 学長からのメッセージ

Message from the President

国立大学法人 東京医科歯科大学  
学長 | 大山喬史



## 「知と癒しの匠を創造する」

東京医科歯科大学は、医歯学総合研究科、保健衛生学研究科、生命情報科学教育部・疾患生命科学研究部の3つの大学院組織、医学部医学科、医学部保健衛生学科、歯学部歯学科、歯学部口腔保健学科の4つの学部学科組織と医学部附属病院、歯学部附属病院、教養教育を担う教養部、および生体材料工学研究所、難治疾患研究所の2つの附置研究所を擁する日本唯一の医療系総合大学院大学です。

本学が目指す人材養成にあたって、そこに求める人間像は、未知なるものへのチャレンジ精神を持ち、真理の探究に努力を惜しまぬ科学者像であります。しかも、その「科学」は「人が生

きる」上で役に立つものでなければなりません。

そこで、「知と癒しの匠を創造する」を本学のミッションといたしました。「知」とは知識と技術からなり、「癒し」は教養と感性とからなります。医療における「知」はその機軸であり、「癒し」はその潤滑油であり、これが融合するところに、「匠」への道が拓かれるということを意味します。

医療とは「知」と「癒し」という縦糸と横糸が織り成すアートであり、本学の目指す医療人養成はこれに依ります。

本学では三つの教育理念を掲げております。

## 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

論語に『君子は、器ならず』とあります。ここで言う「器」とは特定の目的に使用される道具です。「君子」すなわち学者や聖人は単なる専門家であってはいけない、あらゆる多様性に対応できる幅広い知識と豊かな感性を備えていなければいけない、とっております。医療人こそ、ここで言う「器」であってはならないのです。

また『一言にして以て身を終うまでこれを行うべき者ありや』『それ恕か、己の欲せざる所を人に施すこと勿かれ』との遺り取りが

あります。孔子の弟子が、「生涯守るもので一つを挙げるとしたら、それは何でしょうか」と尋ねたところ、「それは恕。自分にして欲しくないことは、人にしてはならない」と答えております。さらに曾子は『夫子の道は、忠恕のみ』と、「老師の人生は忠(まごころ)と恕(思いやり)、それに尽きます」と言い添えております。「忠」とは、自分の良心に忠実なこと。しかし、それだけでは他人に通用しない。そこで「恕」すなわち他人の身になって考える知的な同情、単なる優しさ、憐みではなく、幅広い教養に根づいた同情を併せ持つことが大切だと説明を加えております。

「忠」と「恕」が一体となって、はじめて医療人たり得ると言えます。

医療の現場では、私たちは当然最善を尽く

します。しかしそれは、事に当たったの決意を表すものであり、最後に至って「最善を尽くしました」と済ませることはできません。それは単なる自己満足にしか過ぎないからです。医療人の真の達成感とは、患者さんあるいはご家族の方々の「生きる喜び」を取り戻した姿、感動に接してはじめて得られるものです。そうした境地に達するためには、病める人と向き合う私たちは、先ず患者さんの痛みを理解し、尚且つ患者さんを取り巻く様々な状況、家庭環境や仕事、価値観等の情報を共有できるようでなければなりません。

それには、教養教育を通じて、幅広い知識や思考法などを獲得し、豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を磨き上げておく必要があります。

## 自己問題提起、自己問題解決型の想像力豊かな人材を養成する

漢方医が薬を入れておく、小引き出しが数多くある単笥を百味単笥あるいは薬味単笥といいます。学生諸君は学生時代に習得した知識や技術を、その都度自ら小引き出しを作って、自ら百味単笥に詰め込んでゆかなければなりません。そして臨床や研究に当たって、自らの判断で、時にはいくつもの引き出しを開け、知識と技術の組み合わせを展開してゆ

## 国際感覚と国際競争力に優れた人材を養成する

本学は、臨床・研究面における国際的リーダーの養成を目標に掲げ、様々な海外研修奨励制度を立ち上げております。

全学的には学部学科ごとに成績・就学態度の優秀者(10名)を数ヶ月にわたり海外に研修派遣しております。

くことになります。知識を通して技術を体得し、その技術を通してまた新たな知識を得る。そんな繰り返しが生徒続くこととなります。十分な知識、技術を身につけて、初めての確かな問題発見ができ、そして適切な問題解決が可能となります。「知」と「技」にゆとりを得るには、努力、忍耐が不可欠であり、それに負けない「気力と体力」も必要です。

『学びて思わざれば則(すなわ)ち罔(くら)く、思い学ざれば則ち殆(うたが)う』これは、カントの批判哲学『知識は経験と共に はじまるが、思惟がなければ盲目となる』を連想させる孔子の発想です。知識や情報を沢

山得て、どれだけ習っていても自分で考えてみないことには、自分の人生でどう活かせばよいのか分からない。逆に、先人の知識を無視し、個人の思案だけに頼ると独善的になり過ぎ、これまた生きた智慧には繋がらないということです。

学生諸君には、教養科目、専門科目のいずれにおいても、決して蔑ろにすることなく自ら学んで、自らに問いかける学問をしていたきたい。そして自ら答えを導き出す能力を自ら育む習慣を身につけていく。それを手助けするのが大学であり、そこは自律するための場であることを弁えておく必要があります。

別途、医学部医学科では、米国ハーバード大学(8人派遣)における3か月間の臨床実習と、英国インペリアルカレッジ(4人派遣、4人受け入れ)との4ヶ月間の相互教育を実施しています。このプログラムも教育・研究面で高い評価を得ていることから、今年度新入生から本学独自の新しいカリキュラム「医歯学融合教育」を開始しました。

昨年度から、本学の海外研究拠点、新興・再興感染研究所(ガーナ)、大腸がん研究所(チリ)に研究体験として学生(10名)を派遣し

ました。

大学院学生には「大学院学生研究奨励賞(海外研修奨励金)」や、教員・研究者には海外等で自己研鑽のチャンスを与えるサバティカル制度を創設するなど、海外での研究活動を奨励しております。難治疾患研究所では「国際研究者海外派遣プログラム」を、生体材料工学研究所では「国外研究機関派遣武者修行プログラム」を推進しております。

## 自分自身を磨こう

『学んで時に之を習う、亦説(よろこ)ばしからずや。有朋(とも)、遠きより方(なら)び来る、亦説ばしからずや。人知らずして慍(いか)らず、亦君子ならずや』

書物や師匠について学び、そして反復練習実践していくと自ずとわが身に体得されていきます。自分で出来ることを知る、あるいは疑問を抱き、そこに新たな真実を見出すこともあります。これこそ学問することの楽しみです。そうやって修養・研鑽を積むと共感者、同志が遠いところからでも慕い尋ねてきて

くれます。これこそ感動するほどにうれしいことです。そこでまた議論し、真実を確信したり、時には全く新たらしい真実に気付くこともあるでしょう。これは何と楽しいことか。そこ至って、はじめて『人知らずして慍(いら)ず』という境地に到達します。世の中の人が自分の修得したものを認めてくれなくとも、これを怨まず、咎めず、平然として世に処することができるであろうと締め括っております。これこそ卓抜な研究者、医療人といえるのではないのでしょうか。他人がどう思おうが、自分の信念を貫くことの大切さを説いています。

## 沿革

Brief History

昭和3年10月12日 Oct. 12, 1928	東京高等歯科医学校を設置	昭和47年4月 Apr. 1972	医学部附属臨床検査技師学校を設置 (H3.3 廃止)	平成12年4月 Apr. 2000	大学院医歯学総合研究科(7専攻)を設置 大学院医学系研究科(保健衛生学専攻)を 大学院保健衛生学研究科に改称 留学生センターを設置(H21.4改組)
昭和19年4月 Apr. 1944	東京医学歯学専門学校となり医学科を設置	昭和48年9月 Sep. 1973	難治疾患研究所を設置	平成13年4月 Apr. 2001	大学院医歯学総合研究科歯科学専攻 (修士課程)を設置 大学院保健衛生学研究科(2専攻)を設置
昭和21年8月 Aug. 1946	東京医科歯科大学(旧制)設置 附属図書館設置	平成元年4月 Apr. 1989	医学部保健衛生学科を設置 (看護学専攻・検査技術学専攻)	平成14年4月 Apr. 2002	大学院医歯学総合研究科歯科学専攻 (修士課程)を設置 大学院保健衛生学研究科(2専攻)を設置
昭和24年6月 Jun. 1949	医学部、歯学部附属病院が医学部、 歯学部附属病院とそれぞれ改称	平成元年5月 May. 1989	機器分析室を設置(H8.5 廃止)	平成15年4月 Apr. 2003	大学院生命情報科学教育部(2専攻)を 設置 大学院疾患生命科学研究部を設置 先端研究支援センターを設置(H22.4改組)
昭和26年4月 Apr. 1951	国立学校設置法により東京医科歯科大学 (新制)設置 医学部医学科、歯学部歯学科を設置 歯科材料研究所を附置 歯学部附属厚生女子部を医学部附属看護 学校と改称(H3.3 廃止) 歯学部附属歯科衛生士学校を設置 (H17.3 廃止)	平成4年4月 Apr. 1992	大学院歯学研究科生体機能制御歯科学専 攻(博士)を設置	平成15年9月 Sep. 2003	知的財産本部を設置(H23.4改組)
昭和27年4月 Apr. 1952	歯学部附属歯科技工士学校を設置	平成5年4月 Apr. 1993	大学院医学研究科を大学院医学系研究科 に改称 大学院医学系研究科(保健衛生学専攻) を設置 疾患遺伝子実験センターを設置 (H22.4改組)	平成16年4月 Apr. 2004	国立大学法人 東京医科歯科大学設置 歯学部口腔保健学科を設置
昭和30年4月 Apr. 1955	大学院(医学研究科・歯学研究科)を設置 医学及び歯学進学課程を千葉大学文理学 部内に設置(S33.3 廃止)	平成7年1月 Jan. 1995	情報処理センターを設置(H22.4改組)	平成19年4月 Apr. 2007	脳統合機能研究センターを設置
昭和33年4月 Apr. 1958	医学及び歯学進学課程(国府台分校)を設置	平成7年4月 Apr. 1995	大学院医学系研究科生体感染制御医科学 系専攻(博士)を設置 大学院医学系研究科保健衛生学専攻(博士) を設置	平成21年4月 Apr. 2009	国際交流センターを設置
昭和37年4月 Apr. 1962	医学部附属衛生検査技師学校を設置 (S48.3 廃止)	平成8年5月 May. 1996	機器分析センターを設置(H15.4改組)	平成21年12月 Dec. 2009	スチューデントセンターを設置
昭和40年4月 Apr. 1965	教養部を設置	平成10年4月 Apr. 1998	アイソトープ総合センターを設置 (H15.4改組)	平成22年4月 Apr. 2010	図書館情報メディア機構を設置 歯学研究支援センターを設置 実験動物センターを設置 歯学融合教育支援センターを設置 生命倫理研究センターを常設センターに変更
昭和41年4月 Apr. 1966	歯科材料研究所を医用器材研究所に改称	平成11年4月 Apr. 1999	大学院医歯学総合研究科(3専攻)を設置 医用器材研究所を生体材料工学研究所に 改組	平成23年4月 Apr. 2011	歯学部口腔保健学科(2専攻)を設置 (口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻) 研究・産学連携推進機構を設置
昭和45年4月 Apr. 1970	保健管理センターを設置				

## 歴代校長及び学長

<b>東京高等歯科医学校長</b> Tokyo National School of Dentistry	<b>島峰 徹</b> Shimamine Toru	昭和3年10月13日～昭和19年3月31日 Oct.13,1928 - Mar.31,1944
<b>東京医学歯学専門学校長</b> Tokyo Medical and Dental College	<b>島峰 徹</b> Shimamine Toru	昭和19年4月1日～昭和20年2月9日 Apr.1,1944 - Feb.9,1945
<b>東京医学歯学専門学校長事務取扱</b> Tokyo Medical and Dental College	<b>長尾 優</b> Nagao Masaru	昭和20年2月10日～昭和20年2月19日 Feb.10,1945 - Feb.19,1945
<b>東京医学歯学専門学校長</b> Tokyo Medical and Dental College	<b>長尾 優</b> Nagao Masaru	昭和20年2月20日～昭和25年3月31日 Feb.20,1945 - Mar.31,1950
<b>東京医科歯科大学長事務取扱</b> Tokyo Medical and Dental University	<b>長尾 優</b> Nagao Masaru	昭和21年8月27日～昭和21年10月4日 Aug.27,1946 - Oct.4,1946
<b>東京医科歯科大学長(旧制)</b> Tokyo Medical and Dental University (The Former System)	<b>長尾 優</b> Nagao Masaru	昭和21年10月5日～昭和26年3月31日 Oct.5,1946 - Mar.31,1951
<b>東京医科歯科大学長(新制)</b> Tokyo Medical and Dental University (The New System)	<b>長尾 優</b> Nagao Masaru	昭和26年4月1日～昭和36年6月30日 Apr.1,1951 - Jun.30,1961
<b>岡田 正弘</b> Okada Masahiro	昭和36年7月1日～昭和43年2月29日 Jul.1,1961 - Feb.29,1968	
<b>東京医科歯科大学長事務取扱</b> Tokyo Medical and Dental University	<b>太田 敬三</b> Ota Keizo	昭和43年3月1日～昭和43年3月15日 Mar.1,1968 - Mar.15,1968
<b>東京医科歯科大学長</b> Tokyo Medical and Dental University	<b>太田 敬三</b> Ota Keizo	昭和43年3月16日～昭和44年10月8日 Mar.16,1968 - Oct.8,1969
<b>東京医科歯科大学長事務取扱</b> Tokyo Medical and Dental University	<b>清水 文彦</b> Shimizu Fumihiko	昭和44年10月9日～昭和45年9月17日 Oct.9,1969 - Sep.17,1970
<b>東京医科歯科大学長</b> Tokyo Medical and Dental University	<b>清水 文彦</b> Shimizu Fumihiko	昭和45年9月18日～昭和49年9月17日 Sep.18,1970 - Sep.17,1974
<b>勝木 保次</b> Katsuki Yasuji	昭和49年9月18日～昭和52年7月31日 Sep.18,1974 - Jul.31,1977	
<b>吉田 久</b> Yoshida Hisashi	昭和52年8月1日～昭和60年7月31日 Aug.1,1977 - Jul.31,1985	
<b>加納 六郎</b> Kano Rokuro	昭和60年8月1日～平成3年7月31日 Aug.1,1985 - Jul.31,1991	
<b>山本 肇</b> Yamamoto Hajime	平成3年8月1日～平成7年7月31日 Aug.1,1991 - Jul.31,1995	
<b>鈴木 章夫</b> Suzuki Akio	平成7年8月1日～平成16年3月31日 Aug.1,1995 - Mar.31,2004	
<b>国立大学法人東京医科歯科大学長</b> National University Corporation Tokyo Medical and Dental University	<b>鈴木 章夫</b> Suzuki Akio	平成16年4月1日～平成20年3月31日 Apr.1,2004 - Mar.31,2008
<b>大山 喬史</b> Ohyama Takashi	平成20年4月1日～ Apr.1,2008 -	

# 組織

Organization

## 運営組織等

Management Structure



## 副理事

Associate Managing Trustees

企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	烏山 一 Karasuyama Hajime
総務・財務担当 General Affairs / Finance	近藤 弘 Kondo Hiroshi
教育担当 Education	千葉 司 Chiba Tsukasa
研究担当 Research	北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka
研究担当 Research	水澤 英洋 Mizusawa Hidehiro
医療担当 Medical Treatment	宮坂 信之 Miyasaka Nobuyuki
医療担当 Dental Treatment	嶋田 昌彦 Shimada Masahiko

## 学長特別補佐

Executive Advisers to the President

企画・国際交流担当 Planning/International Exchange	川口 陽子 Kawaguchi Yoko
教育担当 Education	田中 雄二郎 Tanaka Yujiro
教育担当 Education	小村 健 Omura ken
研究担当 Research	稲澤 譲治 Inazawa Jōji
入試担当 Entrance Exam	東 みゆき Azuma Miyuki
入試担当 Entrance Exam	森尾 友宏 Morio Tomohiro
評価担当 Evaluation	杉原 泉 Sugihara Izumi
評価担当 Evaluation	井関 祥子 Iseki Sachiko
苦情相談・学生支援担当 Complaint Consultation and Student support	松浦 雅人 Matsuura Masato
苦情相談・学生支援担当 Complaint Consultation and Student support	江石 義信 Eishi Yoshinobu
広報担当 Public Relations	高久田 和夫 Takakuda Kazuo

## 経営協議会

Administrative Council

経営に関する重要事項を審議  
Deliberate on management issues

【学内委員】 Internal Committee

学長 President	大山 喬史 Ohyama Takashi
理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange)	大野 喜久郎 Ohno Kikuo
理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities)	谷本 雅男 Tanimoto Masao
理事 (教育担当) Trustee (Education)	須田 英明 Suda Hideaki
理事 (研究担当) Trustee (Research)	森田 育男 Morita Ikuo
理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments)	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki

【学外委員】 External Committee

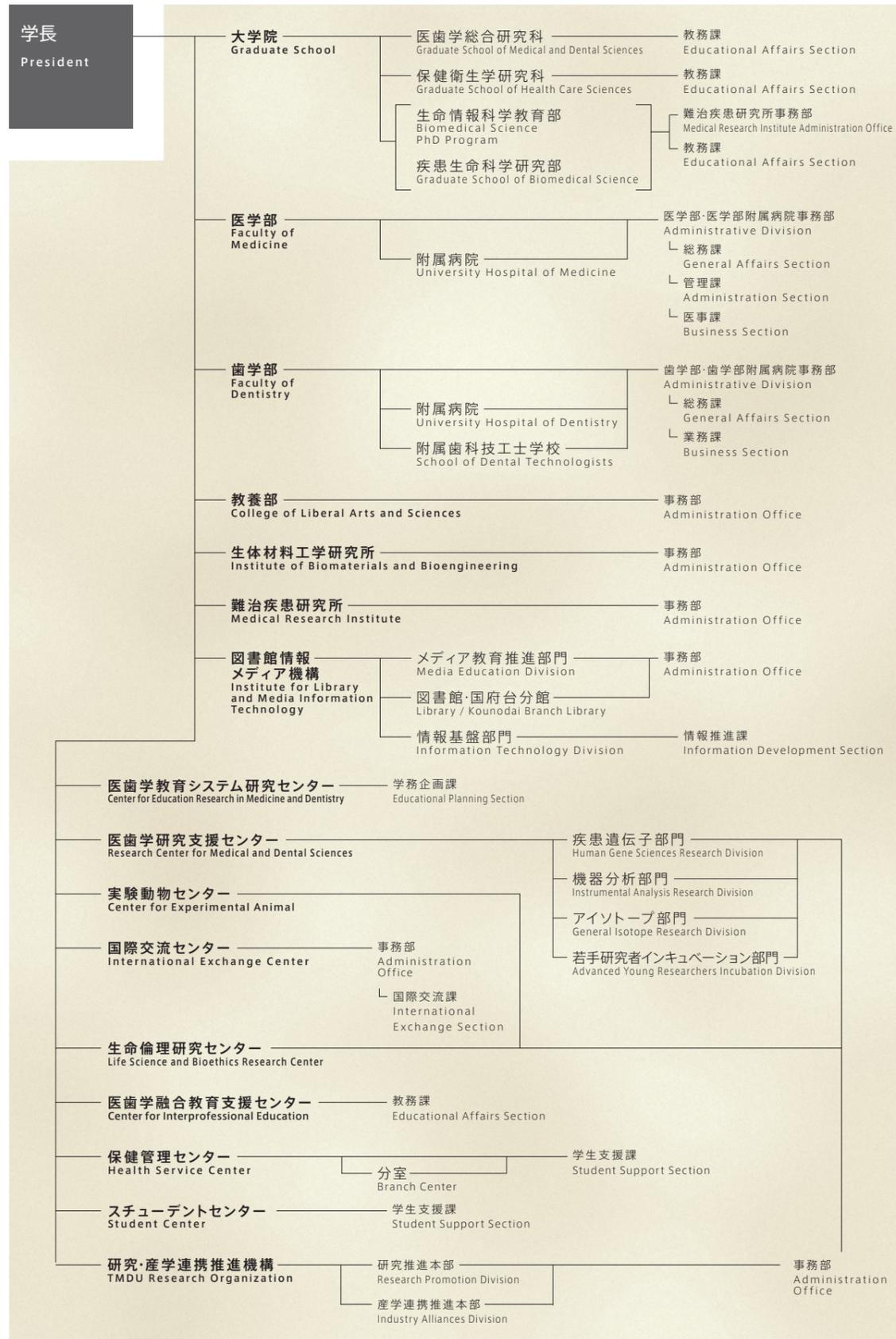
クオントムリープ株式会社 代表取締役ファウンダー&CEO Founder & CEO, Representative Director Quantum Leaps Corporation	出井 伸之 Idei Nobuyuki
財団法人放送大学 教育振興会会長兼理事長 Chairperson, Society for the Promotion of the University of the Air	井上 孝美 Inoue Takayoshi
文京学院大学副学長、 本学名誉教授 Dean, Faculty of Health Science Technology Bunkyo Gakuin University, Professors Emeritus	小池 盛雄 Koike Morio
あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社 特別顧問 Aioi Nissay Dowa Insurance Co., Ltd. Special Adviser	瀬下 明 Seshimo Akira
高橋矯正歯科診療所 理事長、本学名誉教授 Director, Takahashi Orthodontic Office, Professors Emeritus	三浦 不二夫 Miura Fujio
読売新聞グループ本社 代表取締役会長・主筆 Editor-in-Chief, The Yomiuri Shinbun Holdings	渡邊 恒雄 Watanabe Tsuneo

## 教育研究評議会

Education and Research Council

教育に関する重要事項を審議  
Deliberate on educational and research issues

学長 President	大山 喬史 Ohyama Takashi	生体材料工学研究所長 Director, Institute of Biomaterials and Bioengineering	嶋 隆夫 Hanawa Takao
理事(企画・国際交流担当) Trustee (Planning/International Exchange)	大野 喜久郎 Ohno Kikuo	難治疾患研究所長 Director, Medical Research Institute	北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka
理事(総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs/Finance/Facilities)	谷本 雅男 Tanimoto Masao	図書館情報メディア機構長 Director General, Institute for Library and Media Information Technology	木下 淳博 Kinoshita Atsuhiko
理事 (教育担当) Trustee (Education)	須田 英明 Suda Hideaki	医学部附属病院長 Director, University Hospital of Medicine	宮坂 信之 Miyasaka Nobuyuki
理事 (研究担当) Trustee (Research)	森田 育男 Morita Ikuo	歯学部附属病院長 Director, University Hospital of Dentistry	嶋田 昌彦 Shimada Masahiko
理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments)	吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	大学院医歯学総合 研究科教授 (医学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Medical Division)	水澤 英洋 Mizusawa Hidehiro
副学長 (総括) Vice-President (Overall Management)	佐々木 成 Sasaki Sei	大学院医歯学総合 研究科教授 (歯学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Dental Division)	山口 明 Yamaguchi Akira
大学院医歯学総合研究科長、 歯学部長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences Dean, Faculty of Dentistry	田上 順次 Tagami Junji	大学院保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences	松浦 雅人 Matsuura Masato
大学院保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences	井上 智子 Inoue Tomoko	大学院生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science Ph.D Program	教養部教授 Professor, College of Liberal Arts and Sciences
大学院生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science Ph.D Program	影近 弘之 Kagechika Hiroyuki	大学院疾患生命科学研究部長 Dean, Graduate School of Biomedical Science	奈良 雅之 Nara Masayuki
大学院疾患生命科学研究部長 Dean, Graduate School of Biomedical Science	影近 弘之 Kagechika Hiroyuki	医学部長 Dean, Faculty of Medicine	生体材料工学研究所教授 Professor, Institute of Biomaterials and Bioengineering
医学部長 Dean, Faculty of Medicine	湯浅 保仁 Yuasa Yasuhito	教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences	難治疾患研究所教授 Professor, Medical Research Institute
教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences	千葉 司 Chiba Tsukasa		石野 史敏 Ishino Fumitoshi



大学院 Graduate School

- 医歯学総合研究科長 (Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences) 田上 順次 (Tagami Junji)
- 医歯学総合研究科 副研究科長 (Vice Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences) 湯浅 保仁 (Yuasa Yasuhito)
- 保健衛生学研究科長 (Dean, Graduate School of Health Care Sciences) 井上 智子 (Inoue Tomoko)
- 生命情報科学教育部長 (Dean, Biomedical Science Ph.D program) 影近 弘之 (Kagechika Hiroyuki)
- 疾患生命科学研究所長 (Dean, Graduate School of Biomedical Science) 影近 弘之 (Kagechika Hiroyuki)

医学部 Faculty of Medicine

- 医学部長 (Dean, Faculty of Medicine) 湯浅 保仁 (Yuasa Yasuhito)
- 医学科長 (Director, School of Medicine) 水澤 英洋 (Mizusawa Hidehiro)
- 保健衛生学科長 (Director, School of Health Care Sciences) 松浦 雅人 (Matsuura Masato)
- 附属病院長 (Director, University Hospital of Medicine) 宮坂 信之 (Miyasaka Nobuyuki)

歯学部 Faculty of Dentistry

- 歯学部長 (Dean, Faculty of Dentistry) 田上 順次 (Tagami Junji)
- 歯学科長 (Director, School of Dentistry) 森山 啓司 (Moriyama Keiji)
- 口腔保健学科長 (Director, School of Oral Health Care Sciences) 品田 佳世子 (Shinada Kayoko)
- 附属病院長 (Director, University Hospital of Dentistry) 嶋田 昌彦 (Shimada Masahiko)
- 歯科技工士学校長 (Principal, School of Dental Technologists) 五十嵐 順正 (Igarashi Yoshimasa)

教養部 College of Liberal Arts and Sciences

- 教養部長 (Dean, College of Liberal Arts and Sciences) 千葉 司 (Chiba Tsukasa)

生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering

- 研究所長 (Director) 埴 隆夫 (Hanawa Takao)

難治疾患研究所 Medical Research Institute

- 研究所長 (Director) 北嶋 繁孝 (Kitajima Shigetaka)

図書館情報メディア機構 Institute for Library and Media Information Technology

- 図書館情報メディア機構長 (Director General, Institute for Library and Media Information Technology) 木下 淳博 (Kinoshita Atsuhito)
- メディア教育推進部門長 (Director, Media Education Division) 木下 淳博 (Kinoshita Atsuhito)
- 図書館長 (Director, Library) 木下 淳博 (Kinoshita Atsuhito)
- 図書館国府台分館長 (Director, Kounodai Branch Library) 畔柳 和代 (Kuroyanagi Kazuyo)
- 情報基盤部門長 (Director, Information Technology Division) 高瀬 浩造 (Takase Kozo)

医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry

- センター長 (Director) 奈良 信雄 (Nara Nobuo)

医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences

- センター長 (Director) 中村 正孝 (Nakamura Masataka)

実験動物センター Center for Experimental Animal

- センター長 (Director) 金井 正美 (Kanai Masami)

国際交流センター International Exchange Center

- センター長 (Director) 森尾 郁子 (Morio Ikuko)

生命倫理研究センター Life Science and Bioethics Research Center

- センター長 (Director) 吉田 雅幸 (Yoshida Masayuki)

医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education

- センター長 (Director) 田中 雄二郎 (Tanaka Yujiro)

保健管理センター Health Service Center

- センター長 (Director) 三宅 修司 (Miyake Shuji)

チューデントセンター Student Center

- センター長 (Director) 谷口 尚 (Taniguchi Hisashi)

研究・産学連携推進機構 TMDU Research Organization

- 研究・産学連携推進機構長 (Officer, TMDU Research Organization) 森田 育男 (Morita Ikuo)
- 研究推進本部長 (Senior Director, Research Promotion Division) 森田 育男 (Morita Ikuo)
- 産学連携推進本部長 (Senior Director, Industry Alliances Division) 水谷 修紀 (Mizutani Shuki)

# 大学院 Graduate Schools

## 医歯学総合研究科

Graduate School of Medical and Dental Sciences

### 理念

21世紀における国民と国際社会のニーズに応え、医学・歯学の分野での世界的な教育研究の拠点となり、世界をリードする研究者、研究心旺盛な高度専門医療人（アカデミックドクター）を養成する。修士課程では、出身学部学科で習得した知識・技術を活かしつつ、医学・歯学の幅広い知識を身につけることによって医科学・歯科学の基礎研究の分野で高度の学識を有する人材を養成する。さらに博士課程では、先端的な生命科学分野での指導的研究者、基礎医学と臨床医学の融合を図る臨床指向型研究者、医学・歯学の連携を図る学際型研究者、幅広い学識に基づき全人的診断治療の進歩に貢献できる医療人を養成する。

### 修士課程

**医歯科学専攻** Medical and Dental Sciences | **医歯科学専攻医療管理政策学コース(医療管理学コース・医療政策学コース)** Medical and Dental Sciences, Master of Medical Administration Course

### 博士課程

**口腔機能再構築学系専攻**  
Oral Health Science

#### 口腔機能再建学講座 Oral Restitution

口腔病理学分野  
Oral Pathology

細菌感染制御学分野  
Bacterial Pathogenesis

分子免疫学分野  
Molecular Immunology

口腔放射線腫瘍学分野  
Oral Radiation Oncology

顎口腔外科学分野  
Oral and Maxillofacial Surgery

口腔放射線医学分野  
Oral and Maxillofacial Radiology

麻酔・生体管理学分野  
Anesthesiology and Clinical Physiology

疼痛制御学分野  
Orofacial Pain Management

口腔病態診断科学分野  
Diagnostic Oral Pathology

#### 口腔機能発育学講座 Orofacial Development and Function

小児歯科学分野  
Pediatric Dentistry

咬合機能矯正学分野  
Orthodontic Science

#### 摂食機能保存学講座 Restorative Sciences

齶蝕制御学分野  
Cariology and Operative Dentistry

摂食機能保存学分野  
Fixed Prosthodontics

歯髄生物学分野  
Pulp Biology and Endodontics

先端材料評価学分野  
Advanced Biomaterials

有機材料学分野  
Organic Biomaterials

機能材料学分野  
Functional Biomaterials

#### 摂食機能回復学講座 Masticatory Function Rehabilitation

部分床義歯補綴学分野  
Removable Partial Prosthodontics

インプラント・口腔再生医学分野  
Oral Implantology and Regenerative Dental Medicine

全部床義歯補綴学分野  
Complete Denture Prosthodontics

#### 顎顔面頸部機能再建学系専攻 Maxillofacial/Neck Reconstruction

#### 顎顔面機構制御学講座 Maxillofacial Biology

顎顔面解剖学分野  
Maxillofacial Anatomy

認知神経生物学分野  
Cognitive Neurobiology

分子発生学分野  
Molecular Craniofacial Embryology

分子細胞機能学分野  
Cellular Physiological Chemistry

分子神経生物学分野  
Molecular Neurobiology

#### 顎顔面機能修復学講座 Maxillofacial Reconstruction and Function

顎顔面外科学分野  
Maxillofacial Surgery

顎顔面矯正学分野  
Maxillofacial Orthognathics

顎顔面補綴学分野  
Maxillofacial Prosthodontics

障害者歯科学分野  
Dentistry for Persons with Disabilities

金属材料学分野  
Metallic Biomaterials

機械学分野  
Biomechanics

#### 頭頸部再建学講座 Head and Neck Reconstruction

臨床解剖学分野  
Clinical Anatomy

形成外科学分野  
Plastic, Reconstructive and Cosmetic Surgery

頭頸部外科学分野  
Head and Neck Surgery

腫瘍放射線医学分野  
Diagnostic Radiology and Oncology

#### 生体支持組織学系専攻 Bio-Matrix

#### 生体硬組織再生学講座 Hard Tissue Engineering

硬組織構造生物学分野  
Biostructural Science

硬組織薬理学分野  
Pharmacology

硬組織再生学分野  
Tissue Regeneration

硬組織病態生化学分野  
Biochemistry

分子情報伝達学分野  
Cell Signaling

歯周病学分野  
Periodontology

無機材料学分野  
Bioceramics

#### 支持分子制御学講座 Molecular Regulation of Supportive Tissue

細胞生物学分野  
Cell Biology

病態代謝解析学分野  
Medical Biochemistry

運動器外科学分野  
Orthopedic Surgery

#### 環境社会医歯学系専攻 Public Health

#### 国際健康開発学講座 International Health Development

健康推進医学分野  
Health Promotion

国際環境寄生虫病学分野  
Environmental Parasitology

司法医学分野  
Forensic Medicine

国際保健医療協力学分野  
International Health

健康推進歯学分野  
Oral Health Promotion

スポーツ医歯学分野  
Sports Medicine/Dentistry

法歯学分野  
Forensic Dentistry

幹細胞医学分野  
Stem Cell Biology

分子疫学分野  
Molecular Epidemiology

先進倫理医学開発学分野  
Life Sciences and Bioethics

#### 医療政策学講座 Health Science Policies

政策科学分野  
Health Care Management and Planning

医療経済学分野  
Health Care Economics

歯学教育開発学分野  
Dental Education Development

研究開発学分野  
Research Development

医療情報システム学分野  
Health Care Informatics

歯科医療政策学分野  
Health Policy and Management in Dentistry

歯学教育システム評価学分野  
Educational System in Dentistry

教育メディア開発学分野  
Educational Media Development

#### 老化制御学系専攻 Gerontology and Gerodontology

#### 口腔老化制御学講座 Gerodontology

高齢者歯科学分野  
Gerodontology

#### 加齢制御医学講座 Aging Control Medicine

包括病理学分野  
Comprehensive Pathology

統合呼吸器病学分野  
Integrated Pulmonology

血流制御内科学分野  
Geriatrics and Vascular Medicine

食道・一般外科学分野  
Esophageal and General Surgery

呼吸器外科学分野  
Thoracic Surgery

リハビリテーション医学分野  
Rehabilitation Medicine

#### 全人的医療開発学系専攻 Comprehensive Patient Care

#### 包括診療歯科学講座 Comprehensive Oral Health Care

総合診療歯科学分野  
General Dentistry

歯科心身医学分野  
Psychosomatic Dentistry

歯科医療行動科学分野  
Behavioral Dentistry

顎関節咬合学分野  
Temporomandibular Joint and Occlusion

#### 全人診断治療学講座 Comprehensive Diagnosis and Therapeutics

臨床検査医学分野  
Laboratory Medicine

救命救急医学分野  
Critical Care Medicine

心療・緩和医療学分野  
Liaison Psychiatry and Palliative Medicine

薬物動態学分野  
Pharmacokinetics and Pharmacodynamics

臨床医学教育開発学分野  
Medical Education Research and Development

救急災害医学分野  
Acute Critical Care and Disaster Medicine

#### 認知行動医学系専攻 Cognitive and Behavioral Medicine

#### システム神経医学講座 Systems Neuroscience

神経機能形態学分野  
Neuroanatomy and Cellular Neurobiology

システム神経生理学分野  
Systems Neurophysiology

眼科学分野  
Ophthalmology and Visual Science

耳鼻咽喉科学分野  
Otolaryngology

認知システム学分野  
Molecular and Cognitive Neuroscience

生体システム制御学分野  
Biosystem Regulation

#### 脳行動病態学講座 Brain Medical Science

細胞薬理学分野  
Neurobiology and Cell Pharmacology

脳神経病態学分野  
Neurology and Neurological Science

精神行動医学分野  
Psychiatry and Behavioral Sciences

脳神経機能外科学分野  
Neurosurgery

血管内治療学分野  
Endovascular Surgery

神経病理学分野  
Neuropathology

#### 生体環境応答学系専攻 Bio-Environmental Response

#### 感染応答学講座 Infection and Bioresponse

免疫アレルギー学分野  
Immune Regulation

ウイルス制御学分野  
Molecular Virology

免疫治療学分野  
Immunotherapeutics

生体防御学分野  
Biodefense Research

病態細胞生物学分野  
Pathological Cell Biology

#### 生体応答学講座 Bioregulation

発生発達病態学分野  
Pediatrics and Developmental Biology

膠原病・リウマチ内科学分野  
Medicine and Rheumatology

皮膚科学分野  
Dermatology

代謝応答科学分野  
Pathological Biochemistry

免疫応答制御学分野  
Immunology

環境生物学分野  
Cellular and Environmental Biology

#### 器官システム制御学系専攻 Systemic Organ Regulation

#### 消化代謝病学講座 Digestive and Metabolic Disease

人体病理学分野  
Human Pathology

消化器病態学分野  
Gastroenterology and Hepatology

腫瘍外科学分野  
Surgical Oncology

#### 呼吸循環病学講座 Cardio-Pulmonary Diseases

細胞生理学分野  
Physiology and Cell Biology

循環制御内科学分野  
Cardiovascular Medicine

心肺統御麻酔学分野  
Anesthesiology

心臓血管外科学分野  
Cardiovascular Surgery

生体情報薬理学分野  
Bio-informational Pharmacology

分子代謝医学分野  
Molecular Medicine and Metabolism

#### 生体調節制御学講座 Regulation of Internal Environment and Reproduction

腎臓内科学分野  
Nephrology

生殖機能協同学分野  
Comprehensive Reproductive Medicine

腎泌尿器外科学分野  
Urology

幹細胞制御学分野  
Stem Cell Regulation

分子薬理学分野  
Molecular Pharmacology

細胞機能調節学分野  
Molecular Cell Biology

形質発現制御学分野  
Functional Genomics

エピジェネティクス分野  
Epigenetics

発生再生生物学分野  
Developmental and Regenerative Biology

# 大学院 Graduate Schools

## 医歯学総合研究科

Graduate School of Medical and Dental Sciences

### 先端医療開発学系専攻 Advanced Therapeutic Sciences

- 遺伝子・分子医学講座  
Gene and Molecular Medicine
- 分子腫瘍医学分野  
Molecular Oncology
- 血液内科学分野  
Hematology
- 分子内分泌内科学分野  
Clinical and Molecular Endocrinology
- シグナル遺伝子制御学分野  
Signal Gene Regulation
- 創薬化学I分野  
Drug Design Chemistry
- 創薬化学II分野  
Medicinal-Chemical Biology
- 遺伝制御学分野  
Genetic Regulation
- 生命情報学分野  
Bio-informatics
- 遺伝子応用医学分野  
Applied Genetics
- 分子細胞遺伝学分野  
Molecular Cytogenetics
- 遺伝子機能医学分野  
Biochemical Genetics
- 疾患モデル動物解析学分野  
Experimental Animal Model for Human Disease

- 先端外科治療学講座  
Advanced Surgical Therapeutics
- 肝胆膵・総合外科学分野  
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery
- 胸部臓器置換学分野  
Thoracic Organ Replacement
- 整形外科学分野  
Orthopaedic and Spinal Surgery
- 画像・核医学開発学分野  
Investigative Radiology and Endoscopy
- 診断病理学分野  
Surgical Pathology
- 先端技術開発医学分野  
Medical Technology
- 先端機器開発医学分野  
Medical Instrumentation
- 人工臓器工学分野  
Artificial Organ Engineering

### 寄附講座 Endowed Departments

- 薬害監視学講座  
Department of Pharmacovigilance
- ナノメディスン(DNP)講座  
Department of Nanomedicine
- 応用腫瘍学講座  
Department of Translational Oncology
- 分子肝炎制御学講座  
Department for Hepatitis Control
- 消化管先端治療学講座  
Department of Advanced Therapeutics for GI Diseases
- 整形外科先端治療開発学講座  
Development Division of Advanced Orthopaedic Therapeutics
- 軟骨再生学講座  
Department of Cartilage Regeneration
- 睡眠制御学講座  
Department of Sleep Modulatory Medicine
- 小児・周産期地域医療学講座  
Department of Pediatrics, Perinatal and Maternal Medicine
- 東京医科歯科大学地域  
小児医療調査研究講座(東京都)  
Department of Community Pediatric Health Science
- 慢性腎臓病病態治療学講座  
Department of Chronic Kidney Disease
- 関節機能再建学講座  
Section of Joint Reconstruction

# 大学院 Graduate Schools

## 生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program

### 疾患生命科学研究所 Graduate School of Biomedical Science

#### 【教育理念】

1. 教育部・研究部方式を導入することにより、社会的ニーズと教育研究分野の変化に適切に対応した教育と研究を実施する。
2. 進展の著しい生命情報の理解を基礎として、分野融合的な先端的生命科学分野の研究・開発を担う人材を育てるとともに、生命情報解析に基づくマネジメント能力を身に着け実践的問題解決能力を有する人材の養成を目的とする。
3. 複雑な疾患研究領域と先端的生命科学との融合的学際的分野での実践的な研究を推進する。

#### 【教育目標】

1. 多様なバックグラウンドを持った学生を集め、学際的生命科学領域の発展を担える人材を養成する。
2. バイオサイエンスの知識に基づいて疾患・健康に関する諸課題の解決に実践的に関与できる人材を養成する。
3. 国際的に多方面の分野で必要とされる人材を養成する。

### 生命情報科学教育部

#### 博士(前期・後期)課程

### バイオ情報学専攻 Bioinformatics

### 高次生命科学専攻 Functional Biology

### 疾患生命科学研究所

- 疾患生命情報研究部門  
Medical Bioinformatics
- 疾患ゲノム分野  
Genome Diversity
- システム情報生物学分野  
Computational Biology
- プロテオーム情報学分野  
Proteome Informatics
- 疾患情報管理学分野  
Disease Information Management
- ゲノム情報処理学分野  
Genome Informatics
- 応用構造情報研究部門  
Applied Structural Biology
- 分子構造情報学分野  
Structural Biology
- 薬化学分野  
Organic and Medicinal Chemistry
- ケミカルバイオロジー分野  
Medicinal Chemistry

- 高次生命制御研究部門  
Functional Biology
- 遺伝子発現制御学分野  
Gene Expression
- 高次神経科学分野  
Molecular Neuroscience
- 免疫学分野  
Immunology
- 生命システムモデリング分野  
Biosystem Modeling
- 細胞生物学分野  
Cell Biology
- 生体異物情報学分野  
Immune Recognition
- 発生再生医学分野  
Development and Regenerative Medicine

# 学部 Faculties

## 医学部

Faculty of Medicine

## 医学科

School of Medicine

## 保健衛生学科

School of Health Care Sciences

### 理念

医学部は1951年に設立され、現在は医学科と保健衛生学科からなっている。医学科の授業科目としては、機能形態学、機能協同学、分子遺伝学、感染免疫学、病因病態学、環境社会医学、全人診療学、内科学、小児医学、精神医学、外科学、感覚器医学、皮膚医学、女性医学、泌尿生殖医学がある。保健衛生学科は看護学専攻と検査技術学専攻とからなる。看護学専攻の科目には基礎・臨床看護学と地域保健看護学があり、検査技術学専攻の授業科目には基礎検査学と病因・病態検査学がある。医学科と保健衛生学科は、国内にとどまらず世界の医療現場においてリーダーとなりうる優秀な学生を歓迎する。さらに、本学は他の人々に深い配慮と豊かな想像力を持ち、国民の健康に貢献しようという強い意志を持った学生を求めている。

東京医科歯科大学の3つの教育理念に基づき、医学部の全教職員は学生が学術的・臨床的知識を習得し、臨床の場では高い技術を備えるよう指導するとともに、研究意欲に富み、すぐれた人格と洞察力を持つ医療人を育てよう努める。本学学生の大多数が、国内・世界の人々に貢献できることを望んでいる。保健衛生学科の教育理念は、豊かな教養と高い倫理観に基づくものである。自ら学び研究し、創意工夫をすることができる医療人を育て、個々に応じた指導を目指している。学際的視点に立ち看護学・検査学それぞれの領域への専門的な教育を提供している。

## 保健衛生学研究科

Graduate School of Health Care Sciences

### 理念

社会構造が複雑化した現代社会において、保健医療従事者は多職種連携により学際的、国際的な視野から、人々の健康を守るための方法を開発し洗練させ、その成果を世界の隅々まで行き渡らせていく責務を負っている。保健衛生学研究科では、看護学、検査学に求められた課題への対応を通じて、あらゆる健康問題に取り組む実践能力や、実践に有効な方法を開発する研究能力と共に、優れた人材を育てる教育能力を備えた人材の養成を目指している。すなわち、専門分野ごとの知識・技術に精通すると共に、現場が抱えている問題の把握力、解決力に優れ、実践的な問題意識と学際的な視野に根ざす臨床指向型研究を進展させ、世界の臨床現場に発信していくことのできる高度専門職業人ならびに指導的研究者の養成が本研究科の使命である。

### 博士(前期・後期)課程

### 総合保健看護学専攻 Comprehensive Health Nursing Sciences

- 地域・在宅ケア看護学講座  
Community Health and Home Care Nursing
- 地域保健看護学分野  
Community Health Nursing
- 在宅ケア看護学分野  
Home Care Nursing
- リプロダクティブヘルス看護学分野  
Reproductive Health Nursing
- 精神保健看護学分野  
Mental Health and Psychiatric Nursing

### 看護機能・ケアマネジメント開発学講座 Nursing Function and Care Management

- 生体・生活機能看護学分野  
Fundamental Nursing and Life Support
- 小児・家族発達看護学分野  
Child and Family Nursing
- 先端侵襲緩和ケア看護学分野  
Critical and Invasive-palliated Care Nursing
- 高齢者看護・ケアシステム開発学分野  
Gerontological Nursing and Health Care System
- 看護システムマネジメント学分野  
System Management in Nursing

### 健康教育開発学講座 Health Education

### 健康情報分析学分野 Analytical Health Science

- 健康教育学分野  
Occupational Health Education
- 国際看護開発学分野  
International Nursing Development

### 生体検査科学専攻 Biomedical Laboratory Sciences

- 生命情報解析開発学講座  
Life Sciences and Bio-informatics
- 分子生命情報解析学分野  
Biochemistry and Biophysics
- 形態・生体情報解析学分野  
Anatomy and Physiological Science
- 生命機能情報解析学分野  
Biofunctional Informatics
- 生体機能支援システム学分野  
Biophysical System Engineering

### 分子・遺伝子応用検査学講座 Moleculo-genetic Sciences

- 先端分析検査学分野  
Analytical Laboratory Chemistry
- 生体防御検査学分野  
Microbiology and Immunology
- 分子病態検査学分野  
Molecular Pathophysiology
- 先端血液検査学分野  
Laboratory Molecular Genetics
- 先端生体分子分析学分野  
Advanced Analytical Chemistry

歯学部

Faculty of Dentistry

歯学科

School of Dentistry

【教育理念】

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成する。

【教育目標】

- 幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。
- 基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 科学的探究心をもち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
- 全身の常態と病態を理解した上で、口腔・頭蓋・顎・顔面領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識と基本的技術を修得する。
- 社会における歯科医学・医療の役割とその重要性を理解する。

口腔保健学科

School of Oral Health Care Sciences

【基本的理念】

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

【一般教育目標】

- 口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。
- 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
  - 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
  - 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
  - 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
  - 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
  - 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
  - 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。
  - 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
  - QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

附属教育研究施設

Affiliated Educational and Research Facilities

附属歯科技工士学校

School of Dental Technologists

歯科技工に関する高度の技術を授ける。

College of Liberal Arts and Sciences

理念

教養部は、本学の教育理念に沿って、将来、国際的に活躍する医療人を育成するため、さまざまな文化や多様な世界を理解できる幅広い教養と、他者を理解するための豊かな感性を備えた人間を育むことを目指しています。医療を志して入学した若者にまず必要とされるのは、専門教育で獲得される医の知識や技術ではなく、市民社会の一員としての自覚に基づく他者を思いやる心と、高度な倫理観、そして、その上立った他者とのコミュニケーションをはかる能力です。国立大学で現在、唯一設置されている教養部における教養教育は、このような使命を担っています。

また、大学院大学としての本学の社会的要請に応え、将来の優れた研究者となる人材を育成すべく、入学時からリサーチマインドを涵養するための自然科学教育のプログラムを提供し、自己問題提起・自己問題解決型の創造的人間の養成を目指します。

上に述べた教養教育の理念に基づき、教養部では次の4つの力を学生に獲得させることを教育の理念として掲げています。

- 市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性
- 科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力
- 国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力
- 専門教育に必要な基礎学力や思考力、技術

人間科学系

Human Sciences

人文社会科学分野

Humanities and Social Sciences

- 哲学  
Philosophy
- 文学  
Literature
- 社会学  
Sociology

保健体育学分野

Health Sciences and Physical Education

自然科学系

Natural Sciences

数学分野

Mathematics

物理学分野

Physics

化学分野

Chemistry

生物学分野

Biology

外国語系

Foreign Languages

英語分野

English

第二外国語分野

Additional Foreign Languages

ドイツ語

German

フランス語

French

ヒポクラテスホール（校舎棟）



シャン・ドゥ・コースリー



理念

当研究所の前身である歯科材料研究所が昭和26年にスタートし、その後、半世紀に渡って歯科材料を含む生体材料学と医用器材の研究に特化した附置研究所として、他に先駆け医歯工連携の歴史を綴ってきました。この間、昭和41年に医用器材研究所として、平成11年には現在の生体材料工学研究所（略称：生材研）として発展的に改組・改称され、現在では機能分子、素材、システムの3大部門、13分野に拡大しました。これまでに世界に先駆け、「活性型ビタミンD製剤の開発」「抗血栓性ポリマー（MPC）の開発」「超弾性型Ti-Ni合金ワイヤーの開発」「人工アパタイトの製造」などの研究成果を世に出し、基礎から医用デバイス、医療製品の開発に至る、生体材料工学に関する世界の研究拠点として活動してきました。平成16年4月より国立大学の法人化に伴い、当研究所は新たに以下の中期計画を策定し、バイオマテリアル・バイオエンジニアリングに関する学際的基礎を深化させ、分子デバイスから人工臓器を包含する先端的应用研究を以下の通り推進しています。

1. 疾病に関する分子情報の集積や機能分子創製による、先端医療ナノバイオサイエンス
2. バイオインスパイアドマテリアルの創製と応用研究
3. バイオシステムエンジニアリングの先端医療への応用研究

わが国の研究環境は激変していますが、飛躍のための好機と捉え、世界に冠たる研究機関としての礎を一層強固にしつつあります。また、若い優秀な人材が魅力を感じる研究所作りを目指しています。

機能分子研究部門  
Biofunctional Molecules

メディシナルケミストリー分野  
Medicinal Chemistry

分子設計分野  
Molecular Design

分子制御分野  
Applied Functional Molecules

バイオセンサー分野  
Biosensors

素材研究部門  
Division of Biomaterials

金属材料分野  
Metals

無機材料分野  
Inorganic Materials

有機材料分野  
Organic Materials

生体材料物性分野  
Biomaterials Mechanic

システム研究部門  
Division of Biosystems

バイオデザイン分野  
Biodesign

情報分野  
Biomedical Information

計測分野  
Biomedical Devices and Instrumentation

制御分野  
Biosystem Regulation

生体システム分野  
Artificial Organs

生体材料工学研究所



理念

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、難治疾患病態発現の“学理”と“応用”、すなわち、基本原理を理解し、その診断、治療法を開発することを目指している。これらの難治疾患としては、がん、心血管、神経、運動器、代謝、免疫の広範囲にわたる。我々は、また、発生、分化の基本原理や難治疾患の新規治療法の開発をもたらすであろう幹細胞の研究を進展させようとしている。この目的達成のために、分子、細胞、そしてモデル動物までにはわたる一流の研究者を集め、その結果、ヒトを含む生物全般に共通して動く分子機構を明らかにし、難治疾患に関わる臨床と実験試料の多大なリソースを集積してきた。特に、難治疾患研究所は、文部科学大臣による「共同利用、共同研究拠点」の認定制度に基づき、「難治疾患共同研究拠点」(認定の有効期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日)として認定された。そのおもなミッションは、以下の通りである。

1. 難治疾患の病因・病態形成機構解明と診断・予防・治療法開発の基盤形成に資する共同利用・共同研究拠点構築を目的とする。
2. 「疾患バイオリソース」、「疾患モデル動物」、「疾患オミックス」の3つの難治疾患研究リソースを活用した公募型の戦略的難治疾患克服共同プロジェクトを推進する。
3. 国内外の研究者に、上記のリソース群へのアクセスや現存する先端解析支援施設の利用機会の提供を行ない、本邦の難治疾患研究の広範な発展に貢献する。
4. 難治疾患研究に携わる若手研究者の育成・支援システムを整備する。
5. シンポジウム等の開催により、難治疾患研究の啓発と最先端情報の発信に努める。

また、本研究所は、医歯学の学生、大学院学生の教育、若手研究者の育成に深く関与するとともに、海外の多くの研究機関との協定を結び、国際的なプラットフォームを形成している。難治疾患研究を志す国内外の多くの学生、研究者に広く開かれた研究所を目指す。

先端分子医学研究部門  
Advanced Molecular Medicine

分子代謝医学分野  
Molecular Medicine and Metabolism

分子薬理学分野  
Molecular Pharmacology

分子細胞生物学分野  
Molecular Cell Biology

分子神経科学分野  
Molecular Neuroscience

生体防御学分野  
Biodefence Research

生体情報薬理学分野  
Bio-informational Pharmacology

幹細胞制御分野  
Stem Cell Regulation

フロンティア研究室  
(低酸素生物学)

Oxygen Biology

プロジェクト研究室  
Project Research Unit

難治病態研究部門  
Pathophysiology

神経病理学分野  
Neuropathology

病態細胞生物学分野  
Pathological Cell Biology

発生再生生物学分野  
Developmental and Regenerative Biology

幹細胞医学分野  
Stem Cell Biology

免疫疾患分野  
Immunology

分子病態分野  
Molecular Pathogenesis

フロンティア研究室  
(ウイルス治療学)

Frontier Research Unit  
Virus Research Unit

フロンティア研究室  
(細胞生理免疫学)

Cellular Physiology  
and Immunology

プロジェクト研究室  
Project Research Unit

ゲノム応用医学研究部門  
Medical Genomics

分子細胞遺伝学分野  
Molecular Cytogenetics

分子遺伝学分野  
Molecular Genetics

分子疫学分野  
Molecular Epidemiology

遺伝生化学分野  
Biochemical Genomics

エピジェネティクス分野  
Epigenetics

生命情報学分野  
Bioinformatics

フロンティア研究室  
(レドックス応答細胞生物学)

Frontier Research Unit  
Redox Response Cell Biology

プロジェクト研究室  
Project Research Unit

連携研究部門  
Division of Integrative Research

機能構築  
Division of Biosystem Generation

病態発現機構  
Division of Pathogenetic Regulation

大学院教育研究支援実験施設  
Advanced Technology Laboratory

ゲノム解析室  
Genome Laboratory

細胞プロテオーム解析室  
Laboratory of Cytometry and Proteom Research

遺伝子組換えマウス実験室  
Laboratory of Recombinant Animals

形態機能解析室  
Laboratory of Anatomy and cell Function

バイオリソース支援室  
Bioresource Laboratory

構造解析室  
Laboratory for Structure Analysis

幹細胞支援室  
Stem Cell Laboratory

寄附研究部門  
Endowed Departments

臓器代謝ネットワーク研究部門  
Department of Organ Network and Metabolism

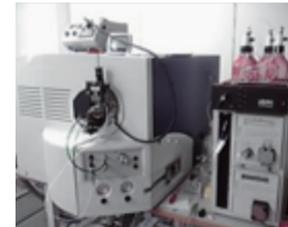
ゲノム解析室



形態機能解析室



プロテオーム解析室



バイオリソース支援室



## 教育メディア開発部

Department of Educational Media Development

### メディア教育推進部門

Media Education Division

e-learning 及びメディア教育を実施する部局の連絡調整に関すること。

### 図書館・国府台分館

Library / Kounodai Branch Library

図書及びその他資料等の収集、選定等に関すること。  
図書及び施設等の利用に関すること。

### 理念

学術情報の電子化が進み、情報流通形態が歴史的変革を遂げ、また利用者の情報利用行動が大きく変わりつつある中で、大学図書館には新たな役割が求められている。特に、強化すべき機能として、「大学の特色を活かした戦略的な紙媒体資料の収集・保存の必要性」「さまざまな学術資料の収集・保存体制の確立・強化」「電子化を活用した狭域化等への対策」「大学図書館における基盤設備の整備の必要性」という4点が今後の大学図書館に求められている。本附属図書館もこれを踏まえ、「情報利用サービスの拡大」「学内情報資源の集約・組織化」「利用者の量的・質的拡大に向けた戦略」の3点に重点を置き、下記のとおり構想を重ねている。

1. 情報利用サービスの拡大  
図書目録の電子化／電子媒体の充実と見直し／情報コンセン  
トの設置／閲覧座席数の大幅増・多目的化／医歯学メディア  
センター利用者の拡大と導入機器の充実
2. 学内情報資源の集約・組織化  
研究関連情報としては各分野が保管する研究関連資料／学習  
内容等を対象とした講義自動集録システムによる e-learning  
システムの活用
3. 利用者の量的・質的拡大に向けた戦略  
情報リテラシー教育の拡大／利用者の多目的なニーズへの対  
応／快適な閲覧空間の創造

### 情報基盤部門

Information Technology Division

学内ネットワークに関すること。全学共同利用サーバの管理・運用に関すること。情報セキュリティの実施に関すること。  
本学公式ホームページの技術的管理及び部局・分野等ホームページ作成支援に関すること。研究情報データベースに関すること。

### 【蔵書数】

区分	和書	洋書	計
<b>図書館</b> Library	97,656冊	116,092冊	213,748冊
<b>国府台分館</b> Kounodai Branch Library	71,055冊	17,532冊	88,587冊
<b>計</b> Total	168,711冊	133,624冊	302,335冊

(平成22年度 Fiscal Year2010)

### 【施設】

区分	面積	座席数	書庫	事務室・その他	計
<b>図書館</b> Library	2,222㎡	343席	388㎡	2,034㎡	4,644㎡
<b>国府台分館</b> Kounodai Branch Library	280㎡	125席	468㎡	285㎡	1,033㎡

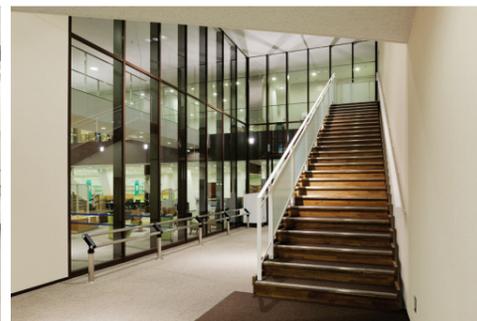
### 【利用状況】

区分	開館日数	入館者数	開館時間	館外貸出冊数
<b>図書館</b> Library	313日	91,623人	平日 8:30~22:00 土・日・祝日 8:30~17:00	学生 9,372冊 教職員 2,562冊
<b>国府台分館</b> Kounodai Branch Library	242日	44,106人	平日 9:00~22:00 土・日・祝日	学生 2,662冊 教職員 250冊

(平成22年度 Fiscal Year2010)



図書館ロビー (M&Dタワー 3F)



### 医歯学教育システム研究センター

Center for Education Research in Medicine and Dentistry

医学・歯学教育のモデル・コア・カリキュラムおよび医学・歯学教育における学習知識と技能・態度に関する到達度評価法を調査研究し、わが国の医師・歯科医師の養成に貢献すること。

# 学内共同教育研究施設

Joint Institutes for Education and Research

### 医歯学研究支援センター

Research Center for Medical and Dental Sciences

#### 疾患遺伝子部門

Human Gene Sciences Research Division

基礎・臨床疾患遺伝子分野に関する教育及び研究。

#### 機器分析部門

Instrumental Analysis Research Division

機器分析技術の開発、研究、教育および分析機器の利用提供と共同利用の推進。

#### アイソトープ部門

General Isotope Research Division

放射線・ラジオアイソトープ関連分野に関する教育および研究。

#### 若手研究者インキュベーション部門

Advanced Young Researchers Incubation Division

若手研究者による独立した研究の推進。

### 実験動物センター

Center for Experimental Animal

動物実験及び動物の飼育管理、並びに疾患モデル動物の開発とその研究。

### 国際交流センター

International Exchange Center

国際交流に関する統括的な業務の実施及び国際交流の推進。

### 生命倫理研究センター

Life Science and Bioethics Research Center

本学における臨床研究計画の立案や研究倫理審査を支援し、先端研究の活性化に貢献するとともに、実践的医療人育成のための生命倫理学教育体系の効率化をはかること。

### 医歯学融合教育支援センター

Center for Interprofessional Education

本学の教育資源を有効に活用し、高齢化社会に対応する包括的医療教育の推進および教育の質の維持・向上を図るため、医歯学融合型教育を新たに構築し、高度かつ効率的な教育体制を整備すること。

# 保健管理センター

Health Service Center

### 保健管理センター

Health Service Center

本学の保健管理の充実を図るための専門的業務を行うとともに、学生及び職員の健康の保持増進を図ること。

# スチューデントセンター

Student Center

### スチューデントセンター

Student Center

本学の学生に対し、生活、修学、就職、メンタルヘルス及びハラスメントに関することなど本学におけるキャンパスライフ全般にわたり、全学的に支援を行い、もって学生支援活動の充実を図ること。

## 研究・産学連携推進機構

TMDU Research Organization

機構は、本学における研究戦略の策定及び研究活動等への支援並びに知的財産の創出支援、保護及び活用を通じた産学連携の推進に資すること。

### 研究推進本部

Research Promotion Division

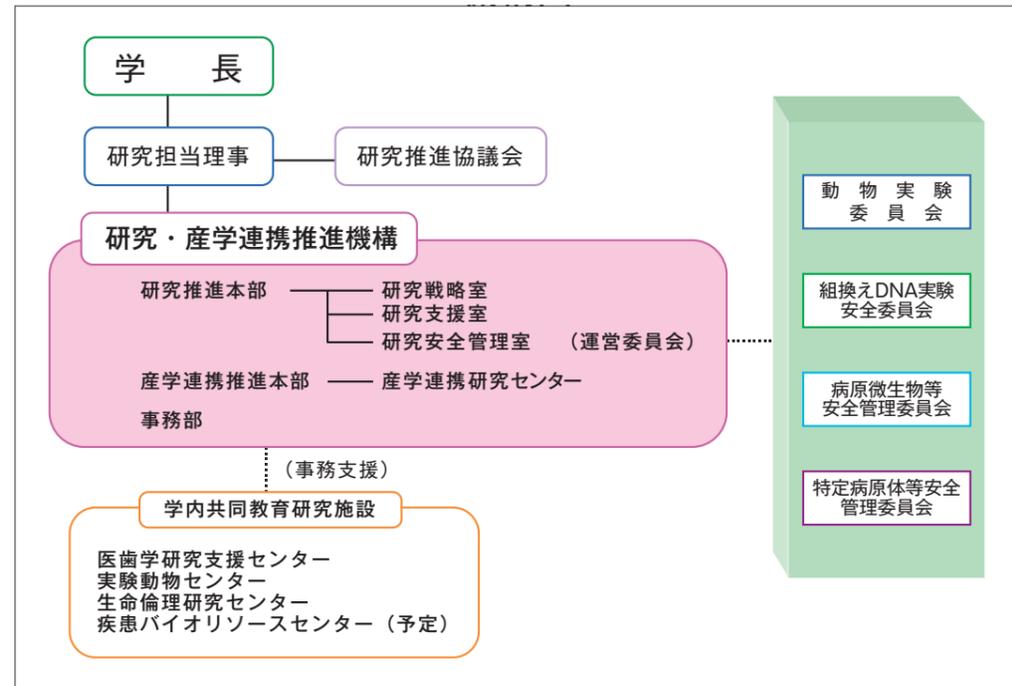
本学における研究戦略の策定及び研究活動等を支援すること。

### 産学連携推進本部

Industry Alliances Division

本学の活動を活性化するために、国内外における産学連携を推進し、知的財産の創出支援、保護、維持、管理活用および社会への還元を通じて、社会に貢献すること。

機構図



## 医学部附属病院

University Hospital of Medicine

## 歯学部附属病院

University Hospital of Dentistry

### 理念

大学の基本理念を踏まえ、医学部附属病院（以下、「医学部病院」という。）および歯学部附属病院（以下、「歯学部病院」という。）は、全人的医療人育成の実践的培地であると同時に一流の医歯学研究者、臨床医、臨床歯科医およびコ・メディカル職員が活躍する場と考え、それぞれの使命と責務の達成に取り組んでいる。附属病院の最終目標は医歯学領域における現在、未来への社会貢献である。ここでいう臨床医歯学の社会貢献とは、

1. 病者に最善の医療を提供して可能な限り発病以前の充実した社会生活ができるようにする
2. 予防医学や臨床的研究成果の活用により疾病の発生を防止する
3. 臨床治療成果を医療へ迅速に展開し、疾患治癒率の向上をはかる
4. 社会的要請に応える実践的医療人の育成
5. 臨床研修施設や大学附属病院において臨床指導を実践する医療人の育成
6. 将来の医療を考え次世代の医療の実践や人材養成を可能とする教育・研究者の育成

などが上げられる。これらを実現するために、

1. 学部学生への充実した臨床教育および卒業臨床研修への厚い指導層と症例数など拡充整備された医療環境の提供
2. 受診者への良質で安全な医療の提供
3. 首都、首都圏、関東甲信越圏などの地域中枢病院との人的・機能的連携ならびに国際的な医療貢献とそのための支援体制の構築
4. 広域な連携病院との臨床治験を含めた臨床研究の実践と広域医療レベル向上策の実施
5. 連合大学との連携による横断的研究体制と学内の基礎医学分野との連携による縦断的研究体制を組み合わせたマトリックス構想による先進医療の開発とその実践
6. 国民への安心・安全な医療提供を目指した病院の安全管理および経営の実学的構築

以上6項目の基本使命を掲げ、各附属病院が今後取り組んでいくべき具体的計画を作成した。

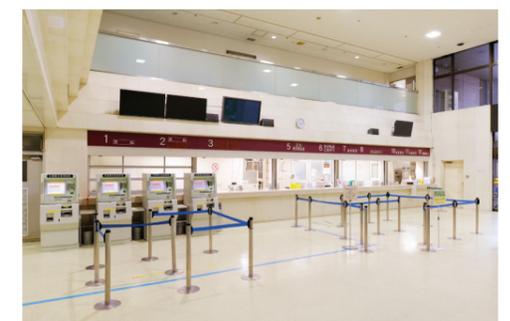
医学部病院では、国内地域医療上の課題への対応と解決策の提示を行うとともに、臨床研究や最先端医療面では国際的観点から、絶えず世界的貢献を視野に難治疾患や難手術などに新たな治療法の確立を目指す。また、歯学部病院では、今後ますます優れた医療人の育成に努め、患者一人ひとりにあった安全で質の高い歯科医療を実践し、口腔の健康増進を通して社会に貢献していくことを目指す。

附属病院の安定した運営は、大学経営にとっても非常に重要であることを踏まえ、継続的な努力を行い、学部学生や大学院生の教育並びに先進的な研究の推進に資する。

医学部附属病院（医科A棟）



歯学部附属病院（歯科棟南）



診療科

Clinics

内科系診療部門  
Department of Internal Medicine

- 血液内科  
Hematology
- 膠原病・リウマチ内科  
Rheumatology
- 内分泌・代謝内科  
Endocrine, Metabolic, Diabetes
- 腎臓内科  
Nephrology
- 老年病内科  
Geriatrics
- 消化器内科  
Gastroenterology and Hepatology
- 循環器内科  
Cardiovascular Medicine
- 呼吸器内科  
Pulmonary Medicine

外科系診療部門  
Department of Surgery

- 食道・胃外科  
Esophageal and Gastric Surgery
- 大腸・肛門外科  
Colorectal Surgery
- 肝胆膵外科  
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery
- 乳腺外科  
Breast Surgery

- 血管外科  
Vascular Surgery
- 心臓血管外科  
Cardiovascular Surgery
- 呼吸器外科  
Thoracic Surgery
- 泌尿器科  
Urology
- 頭頸部外科  
Head and Neck Surgery

感覚・皮膚・運動機能診療部門  
Department of Sensory, Motor System  
Medicine and Dermatology

- 眼科  
Ophthalmology
- 耳鼻咽喉科  
Oto-Rhino-Laryngology
- 皮膚科  
Dermatology
- 形成・美容外科  
Plastic and Aesthetic Surgery
- 整形外科  
Orthopedic Surgery

小児・周産・女性診療部門  
Department of Pediatrics,  
Maternal and Woman's Clinic

- 小児科  
Pediatrics

- 周産・女性診療科  
Maternal and Woman's Clinic
- 遺伝子診療外来  
Clinical Genetics Division

脳・神経・精神診療部門  
Department of Neurology,  
Neurosurgery and Neuropsychiatry

- 脳神経外科  
Neurosurgery
- 神経内科  
Neurology
- 血管内治療科  
Endovascular Surgery
- 精神科  
Neuropsychiatry
- 麻酔・蘇生・ペインクリニック科  
Anesthesiology and Pain Clinic
- 心身医療科  
Psychosomatic and Palliative Medicine

放射線診療部門  
Department of Radiology

- 画像診断・放射線治療科  
Diagnostic Radiology and Oncology

救命救急センター

Trauma and Acute Critical Care Medical Center

中央診療施設等

Department of Internal Medicine

- 薬剤部  
Department of Pharmacy
- 検査部  
Clinical Laboratory
- 手術部  
Operation Center
- 放射線部  
Radiological Center
- 輸血部  
Hospital Blood Transfusion Center
- 理学療法部  
Physical Medicine Center
- 集中治療部  
Intensive Care Unit

- 材料部  
Supply Unit
- 分娩部  
Maternal Fetal Medicine Division
- 病理部  
Department of Pathology
- 光学医療診療部  
Department of Endoscopic Diagnosis and Therapy
- 医療情報部  
Department of Medical Informatics
- 血液浄化療法部  
Department of Blood Purification
- 総合診療部  
Department of General Medicine

- 外来化学療法・注射センター  
Outpatient Chemotherapy Center
- 核医学・PETセンター  
Positron Emission Tomography Center
- がん治療センター  
Cancer Treatment Center
- 医療福祉支援センター  
Center for Medical Welfare and Support
- 臨床試験管理センター  
Clinical Research Center
- 臨床教育研修センター  
Center for Postgraduate Medical Education
- 高気圧治療部  
Hyper Baric Medical Center

- MEセンター  
ME Center
- 細胞治療センター  
Center for Cell Therapy
- 低侵襲医学研究センター  
Center for Minimally Invasive Surgery
- 不整脈センター  
Heart Rhythm Center
- 病歴管理部  
Department of Medical Records
- 安全管理対策室  
Quality Management Section
- 感染対策室  
Infection Control Section

看護部

Nursing Department

診療科

Hospital Departments

育成系診療科  
Clinics for Dentofacial  
Growth and Development

- 矯正歯科外来  
Orthodontics
- 小児歯科外来  
Pediatric Dentistry

維持系診療科  
Clinics for Conservation of  
Oral and Maxillofacial Function

- むし歯外来  
Operative Dentistry and Endodontics
- 歯周病外来  
Periodontics
- ペインクリニック  
Orofacial Pain Clinic
- 歯科心身医療外来  
Psychosomatic Dentistry Clinic
- 顎関節治療部  
Temporomandibular Joint Clinic

回復系診療科  
Clinics for Oral and  
Maxillofacial Rehabilitation

- 口腔外科外来  
Oral Surgery
- 顎顔面外科外来  
Maxillofacial Surgery
- 義歯外来  
Prostodontics
- 顎義歯外来  
Maxillofacial Prosthetics
- スポーツ歯科外来  
Sports Dentistry
- 言語治療外来  
Speech Clinic
- インプラント外来  
Dental Implant Clinic

総合診療科  
Clinics for General Dentistry

- 歯科総合診療部  
Oral Diagnosis and General Dentistry

- (専)いびき無呼吸歯科外来  
Dental Sleep Clinic

第1 総合診療室  
General Dentistry I

第2 総合診療室  
General Dentistry II

第3 総合診療室  
General Dentistry III

- 歯科麻酔外来  
Ambulatory Anesthesia Service
- 歯科放射線外来  
Oral and Maxillofacial Radiology
- スペシャルケア外来  
Special Care Clinic

(専)摂食リハビリテーション外来  
Dysphagia Rehabilitation

息さわやか外来  
Fresh Breath Clinic

クリーンルーム歯科外来  
Cleanroom

口腔ケア外来  
Oral Health Care

歯科アレルギー外来  
Dental Allergy

中央診療施設等

Central Clinical Facilities

- 検査部  
Clinical Laboratory
- 歯科技工部  
Dental Laboratory
- 医療安全管理室  
Section of Clinical Safety Management
- 感染対策室  
Cleanroom or Unit for Infection Control

- 診療情報管理室  
Section of Clinical Information Management
- 歯科臨床研修センター  
Center for Advanced Dental Clinical Education
- 地域歯科医療連携センター  
Center for Clinical Cooperation
- 歯科医療情報センター  
Center for Dental Information

- 歯科器材・薬品開発センター  
Center for Development of Instruments  
and Drugs in Dentistry
- 中央手術室  
Division of Surgical Operation
- 歯科病棟  
Dental Ward
- 中央器材室  
Section of Central Supplies

薬剤部

Department of Pharmacy

看護部

Department of Nursing

歯科衛生保健部

Department of Dental Hygiene

## グローバルCOEプログラム

Global COE Program

「グローバルCOEプログラム」は東京医科歯科大学においては2008年に文部科学省により採択されました。本プログラムは2003年から開始された「21世紀COEプログラム」の評価・検証を踏まえてさらに予算を拡充し、全国の14拠点に限定して重点化されたものです。このプログラムは大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図ること、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し国際競争力のある大学づくりを推進することを目的としています。

### 歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点

事業推進責任者: 難治疾患研究所 野田 政樹 教授

グローバルCOEプログラム: 歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点(ーデント・メドミクスのインテリジェンスハブー)の理念は新しい「若手に対する重点教育」による育成システムを創造推進することです。

本拠点においては、2008年の採択以来世界の最先端の研究成果が挙げられ、また国内外の一流の研究機関にて活躍する優秀な若手が育成され、研究レベルの上でも着実な発展を遂げています。臨床的にも本拠点から発表された治療の研究は特筆すべきであり、その成果は、多くのメディアにより報道されています。2010年の中間評価において医学系14拠点の中でも特に秀れた2拠点の1つに選ばれています ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/globalcoe/afieldfile/2011/03/11/1302857\\_02\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/globalcoe/afieldfile/2011/03/11/1302857_02_1.pdf))。事業推進担当者は優れた研究を推進し、本拠点から多数の業績を発信するとともに外部資金を充実させ大学院に新たな教育方式を取り入れ、人材を養成するなど研究、教育、診療にわたり本領域の発展に貢献しています。

本プログラムの目的は、世界で最も高齢化の進行する我が国において、人が生きる為に必須の“歯と骨”の疾患の分子病態とその再建・治療について、新たに新領域の研究者を加え最先端の研究をさらに推進し、現在の国際教育推進体制を新設し、次世代を担う「世界で活躍する若手研究者」を育成することです。

生命的な寿命のみならず“健康寿命”をいかに維持するかに重要な“歯と骨”の硬組織は、加齢により量・質共に喪失が進行し、これを完全に止めることは尚困難です。そこでいかにこれを“治療・再建”するかが緊急の課題で、ここに本研究の必要性があり国民の健康上の課題としての重要性があります。本拠点の期待される効果は、世界の最先端の“歯と骨”の領域における実績に基づき、

- (1) さらにこれまでにない、先導的研究を歯と骨の研究領域に導入し、引き続き世界のトップとして牽引すること
- (2) 我が国の“歯と骨に関わる国民の健康増進”に寄与すること

(3) また次世代の国際的に活躍する優秀な若手研究者を育成すること

です。現在推進する拠点活動は、これまでの本領域における実績に加え、その規模と質の両面で高い評価を基盤とした基礎ならびに臨床研究を推進する歯と骨の研究領域における世界最高レベルの教育研究拠点であり、歯と骨の疾患の分子病態のメカニズムならびにその先進的治療法開発を実現する研究を推進し、国際的に活躍する若手研究者を育成するものです。

本拠点の研究活動の重点は、

- (1) 歯と骨の喪失に至る疾患の分子病態成立のメカニズムの解明
  - (2) 歯と骨の先進的再建の為の診断治療法の基盤研究の推進
  - (3) 歯と骨の疾患の機能ゲノム研究の推進
- にあります。

本拠点のホームページ  
<http://www.tmd.ac.jp/cm/gcoe/index.html>



## 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム(総合的連携型)

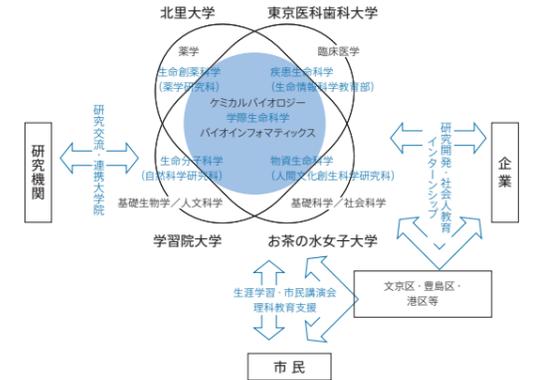
The "Strategic University Collaboration and Assistance Program for the Enrichment of University Education"

本プログラムは、国公私立大学間の積極的な連携を推進し、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、大学運営基盤の強化等とともに、地域と一体となった人材育成の推進を図ることを目的として文部科学省が平成20年度から助成しています。

### 学際生命科学東京コンソーシアムによる全人的大学院人材育成拠点の確立

取組責任者: 大学院疾患生命科学部 影近 弘之 教授

この取組は、学際生命科学分野の高度化において互いに補完的な特色を有し、東京の中心部に位置する東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学の四大学の学際生命科学領域が中核となり、首都圏の様々な研究機関・企業・自治体と連携の輪を広げて産官学地域ネットワークを確立します。さらに、四大学がこのような地域ネットワークと連携しつつ補完的に大学院共通カリキュラムの開発やインターンシップ共同実施、学生支援共同実施等の教育高度化システム構築や地域連携を行うことにより、国・私立の枠を超えて地域と連携した異分野融合的教育研究環境を構築し、幅広い学識を備え真の社会ニーズを理解して探究できる人材の育成を行うとともに生命科学領域の産官学地域拠点形成を行っていきます。



## 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム

Program for Promoting University Education and Student Support.

大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム(大学における教育の質保証の取組の高度化)は、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。

### コンピュータによる診療模擬実習の展開

— 医療専門職の推論・判断・解決・連携能力を向上させる、コンピュータシミュレーション実習 —

取組担当者: 図書館情報メディア機構長 木下 淳博 教授

本取組では、導入する教材制作・共有システム、診療映像収録・編集装置、教材作成・評価システム(データベース)を、既存のeラーニングシステム、双方向通信装置等と連携させ、情報通信技術の活用を図ることにより、医療系総合大学として、医学科、歯学科、保健衛生学科、口腔保健学科の学生が共通して、または相互に学ぶべき内容、症例等に関する教材を、学科を超えて共同開発し、全学科の学生が、時間や空間の制約なく学べる教育システムに発展させます。

また、臨床現場を疑似体験できるコンピュータシミュレーション教材を充実させることによって、学生の臨床推論能力、臨床判断能力、問題解決能力、チーム医療を実践するための連携能力を培い、医療人としての学士力を確保します。



医療人として当然でなければならぬ緊急対応、共通のルール、医療コミュニケーションの基礎、チーム医療の実際を疑似体験する。



## 看護師の人材養成システムの確立

Development of Human Resource System for Nurses

本事業は文部科学省大学改革推進事業で、大学病院看護部と自大学看護系の学部・看護学科等が連携して、体系立てられた臨床研修方法や体制等を学問的検討を行って開発し、臨床の看護職及び基礎教育課程の教育レベルを向上させることにより、効率的・継続的な専門能力の習得と向上が図られ、国内の安心・安全な看護提供体制を構築することを目的としています。

### 看護職IKASHIKAキャリアパスの開発～メンター・PBL方式による～

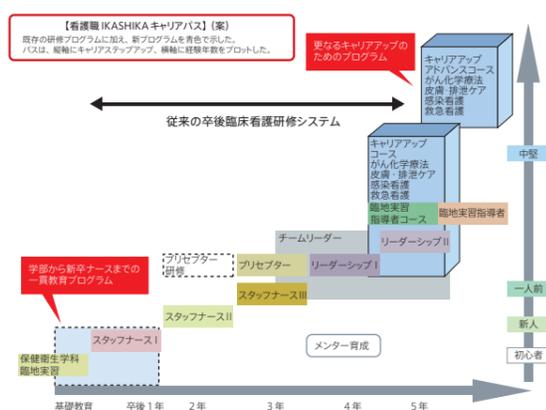
事業推進責任者：医学部附属病院看護部長 小牟田 智子

本学のプランでは、キャリア形成を系統的、効果的に支援するために本学オリジナルの「看護職IKASHIKAキャリアパス」を作成、実施し、メンタリングと問題基盤型学習(PBL: Problem based learning) 技法を取り入れ、各人の目標達成を支援することを目指しています。このキャリアパスは、学生からエキスパートに至る看護職発達モデルに基づく一貫した支援システムであり、各段階に明確な到達目標が提示されます。具体的には図に示すように、基礎教育からキャリアアップコースまで段階的にスキルアップしていき、メンター教育も取り入れたキャリアパスとなっています。

この取り組みでは看護部と保健衛生学科との人事交流についても重視しています。たとえば医学部附属病院の看護師による看護学生の演習指導や看護教員の院内研修制度、共同運営による院内看護専門窓口の開設等を推進します。また、看護技術力の習得、向上を目的とした「看護アーツルーム」を開設し、学

生や看護師がいつでも自由に看護技術を学ぶことができます。

これらのプランにより、自ら考え判断し的確に実施できる高度な看護実践能力と質の高い教育力を備えた看護職の育成を目指します。



## 組織的な大学院教育改革推進プログラム

Program for Enhancing Systematic Education in Graduate Schools

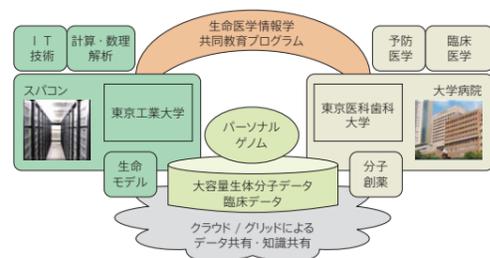
「組織的な大学院教育改革推進プログラム」は、社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材を育成する大学院博士課程、修士課程を対象として、優れた組織的・体系的な教育取組に対して重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化及びこれを通じた国際的教育環境の醸成を推進することを目的としています。

### 情報学と生命医学の発展的融合教育の新展開

取組実施責任者：大学院生命情報科学教育部 田中 博 教授

本プログラムは、四大学連合(東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学、平成13年に憲章締結)の実績に立ち、東京工業大学と東京医科歯科大学が共同で、情報学と生命医学の融合教育プログラムを開発するものである。異分野の学生と教員が、医療の高度化というひとつの目標に向かって切磋琢磨する場を整備し、真に社会に必要とされる技術開発を促進するとともに、異分野融合領域で活躍できる能力を学生に付与する。東京医科歯科大学の学生は、東京工業大学の教授陣から、生命ダイナミズムに関する情報概念やスーパーコンピュータ上の並列計算を含む最先端の情報工学を学ぶ。次世代

シーケンサーなどが産出する膨大なパーソナルゲノム情報の意味を解析できる能力を身につけ、パーソナルゲノム先端医療をリードできる人材を育成する。



## がんプロフェッショナル養成プラン

Human Resource Development Plan for Cancer

この事業は、文部科学省が大学のがん治療の教育を活性化し、がん医療を担う医療人養成を推進させるために、質の高いがん専門医等を養成し得る優れたプログラムに財政支援を行うものです。全国で18件のプログラムが採択されています。

### がん治療高度専門家養成プログラム

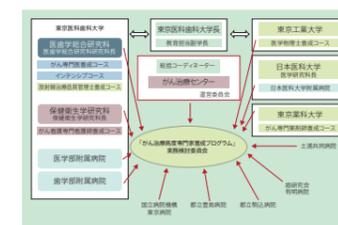
事業推進責任者：大学院医歯学総合研究科副研究科長 湯浅 保仁 教授

本プログラムの特徴は、組織体制として、コーディネーターを中心に、本学大学院医歯学総合研究科・保健衛生学研究科ならびに医学部附属病院・歯学部附属病院、日本医科大学医学研究科および附属病院、東京工業大学大学院医歯工学特別専攻、東京薬科大学、そして連携医療機関から構成されることです。連携医療機関は、東京都立駒込病院、癌研究会有明病院、東京都立豊島病院、独立行政法人国立病院機構東京病院、土浦協同病院となっています。

本プランのがん専門医療人養成計画のコースは大きく3つに分かれています。一つは、がん医療に携わる専門医師養成コースで、この中にはがん放射線療法専門医師コース、がん化学療法専門医師コース、がん緩和ケア専門医師コースがあります。二番目のコースは、がん医療に携わる専門のコメディカル養成

コースで、がん看護専門看護師養成コースと医学物理士および放射線治療品質管理士養成コースを設けています。三つ目は、がん医療に携わる専門医師等の研修(インテンシブ)コースで、すでにごん治療に従事している医師の専門分野に対応する養成コースです。

日本がん治療認定医機構から平成23年3月31日付で「インテンシブコース」が学術単位として認定されました。



## 大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成

Training of Distinguished Specialists by Mutual Cooperation between University Hospitals

本事業は、複数の大学病院が緊密に連携・協力しそれぞれの得意分野での相互的な補完を図ることで、各病院等を循環しながら修練や幅広い経験を積むことができる医師キャリア形成システムを構築するとともに、大学病院の若手医師に多様なキャリアパスを明確に示すことにより、若手医師が将来に希望を持ちながら安心して研修に専念でき、国民の要請に応えられる質の高い専門医や臨床研究者の養成に貢献することを目的としています。

### 都会と地方の協調連携による高度医療人養成

一「付加価値」を身につけるテーラーメイド研修

取組責任者：医学部附属病院長 宮坂 信之 教授

東京医科歯科大学・秋田大学・島根大学の医学部は、それぞれ高度先進医療機関である附属病院と豊富な関連病院が一体となって、地域の医療を担う医師を輩出してきました。

この3大学は、平成19年度より広域連携臨床研修プログラムを創設し(初期)臨床研修における連携を既に開始しました。これを踏まえ、新たに専門医および家庭医育成においても連携することとなりました。

3大学が新たに提供する①短期(3ヶ月)および②長期(1年)パッケージ研修を活用することにより、付加価値のある専門医または家庭医になるための研修が可能となります。また、3大学は(社会人)大学院を有し、後期研修の過程で発見した課題を、

研修を継続しつつ研究に昇華・発展させる道も開いており、専門医に加え学位取得も可能です。

### ■ 各大学の研修医療圏



## 科学技術振興調整費

[国際共同研究の推進(先進技術を基盤とした地域共通課題解決型共同研究)]

Special Coordination Funds for Promoting Science and Technology

科学技術振興調整費は、科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要研究業務の総合推進調整のための経費として、昭和56年度に創設されたもので、各省庁、大学、民間といった既存の研究体制の枠を超えた横断的・総合的な研究開発の推進を主たる目的としています。

### 鳥インフルエンザ治療薬の国際共同開発研究

研究代表者:大学院疾患生命科学部 細谷 孝充 教授

ベトナムでは現在も、旧来の日本の農家のように家禽は人家と近接して飼育されているため、ヒトへの感染例もインドネシアと並び世界最多で、高病原性鳥インフルエンザの脅威は現実となりつつある。研究代表者らが東京医科歯科大学で開発した抗ウイルス薬は、宿主細胞の蛋白リン酸化酵素を標的とし、鳥インフルエンザウイルスに対しても効果が期待できるので、両国の研究者が協力して開発を推進し、次世代研究者の組織的交流を促し、最新の創薬技術の普及と研究者育成を図る。

研究代表者は国際医療センターや感染症研究所とも密接な共同研究を行っており、両国の研究機関のネットワークと連携強化が期待される。またハノイ医科大学はベトナム社会主義共和

国医療省と密接な連絡・協議を行っているので、本国際共同研究が実施されればベトナム医療省の全面的な協力を得られる可能性が高い。



ハノイ医科大学での風景

## 地球規模課題対応国際科学技術協力事業

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

本事業は、開発途上国のニーズを基に、地球規模課題を対象とし、将来的な社会実装の構想を有する国際共同研究を政府開発援助(ODA)と連携して推進し、地球規模課題の解決および科学技術水準の向上につながる新たな知見を獲得することを目的としています。

### 開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究

—ガーナ由来薬用植物による抗ウイルス及び抗寄生虫活性候補物質の研究—

取組責任者:大学院医歯学総合研究科 山岡 昇司 教授

本学はこれまで、野口英世博士を記念して設立された西アフリカのガーナにある野口記念医学研究所に特任教授・准教授を派遣して研究拠点を設立、ウイルス学、寄生虫学の研究を進めてきました。平成21年度からは、科学技術振興機構(JST)と国際協力機構(JICA)による地球規模課題対応国際科学技術協力事業として、ウイルス複製、寄生虫増殖を抑制する薬用植物中の有効成分の研究を開始しました。この研究事業はガーナ側からの強い要請にもとづいて企画され、日本側から本学ウイルス制御学、国際寄生虫学の太田伸生教授、免疫治療学の神奈木真理教授と長崎国際大学薬学部の正山征洋教授の各グループが参加し、ガーナ側の野口記念医学研究所と生薬科学研究セ

ンターの研究グループと感染症治療に有効な生薬有効成分について共同研究を行います。



野口記念医学研究所での協議風景

## 日中韓フォーサイト事業

A3 FORESIGHT PROGRAM

本事業は、我が国と中国・韓国の研究機関が連携して、世界トップレベルの学術研究、地域共通の課題解決に資する研究及び若手研究者の育成を行うことにより、3カ国を中核としてアジアに世界的水準の研究拠点を構築することを目的としています。

### 胃がん発症におけるエピジェネティック変化の関与

研究代表者:大学院医歯学総合研究科 湯浅 保仁 教授  
中国側研究代表者:北京大学腫瘍学院 Deng Dajun 教授  
韓国側研究代表者:ソウル国立大学医学部 Kim Woo Ho 教授

胃がんは日本・中国・韓国において頻度の高いがんであり、胃のがん化過程には、エピジェネティックな変化(遺伝子そのものには変化は無いが発現が変化)が重要である。

3カ国の当事業に参加する胃がん研究者が所属する各施設は、研究拠点として既に世界的レベルにある。これらが、交流・共同研究を行うことで、3カ国の多数の胃がん症例におけるエピジェネティックな変化を徹底的に解析して、共通点・違いを明らかにする。疫学的にも3カ国の胃がんの相違点を解析する。これらの共同研究により、胃がんの新たな早期診断、予防、治療法を開発することを目標とする。

以上により、研究拠点としてもさらにレベルをあげることを目指す。



左から湯浅・Kim・Dengの各代表

## イノベーションシステム整備事業(大学等産学官連携自立化促進プログラム)

Project for Developing Innovation Systems(Program for Promoting Self-Sustaining Management of Industry-Academia-Government Collaboration in Universities)

本事業は、国際的な産学官連携体制の強化や国公立大学間連携等による地域の多様な知的財産活動体制の構築など、大学等の活動としては実施のリスクが高く、かつ、国として政策的観点から積極的に促進すべき活動を重点的に支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的とした事業です。

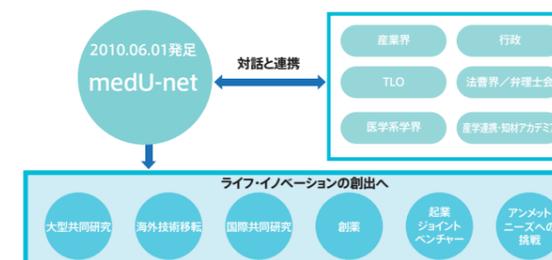
### 国際的な産学官連携活動の推進

取組責任者:研究・産学連携推進機構 産学連携推進本部 飯田 香緒里 准教授

本学の産学官連携支援体制は、2011年4月に設立された研究・産学連携推進機構の下、産学連携推進本部(旧知的財産本部:廃止)が中心となり、産学官連携研究活動及び研究成果の権利化・活用の支援を行っている。

本事業を通じた活動としては、医療社会の発展を常に意識した国際研究、及び本学発の研究成果を医療現場・医療福祉へ積極的に還元(技術移転)するには、産学官の連携は必須と捉え、それに必要な支援体制の拡充に向けた取り組みを行っている。

特に、新成長戦略で掲げられるライフイノベーションによる健康大国の実現には、医療系の産学官連携が果たす役割は大きいことから、本学が幹事となり、2010年6月医学系大学産学連携ネットワーク協議会(medU-net)を設立した。医学系産学連携関係者140人以上の会員が登録する本協議会は、医学領域における産学官協力体制を強化することで、医学研究・医療の発展に資することを目的としている。



## 日本学術振興会 [最先端・次世代研究開発支援プログラム]

Funding Program for Next Generation World - Leading Researchers (NEXT Program)

本プログラムは、将来、世界をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者に対する研究支援制度であり、「新成長戦略(基本方針)」(2009年12月30日閣議決定)において掲げられた政策的・社会的意義が特に高い先端的研究開発を支援することにより、中長期的な我が国の科学・技術の発展を図るとともに、我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することを目的とします。

### オートファジーの分子機構と生理機能に関する分野横断型研究

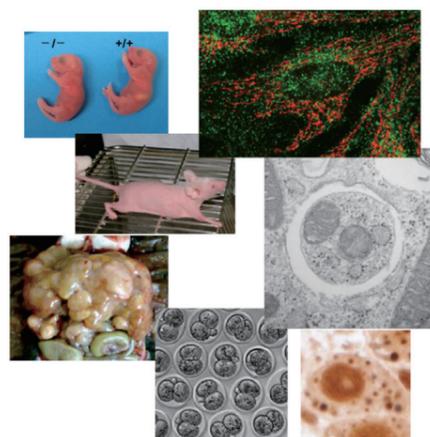
取組責任者:大学院医歯学総合研究科 水島昇 教授

私たちの体の構成成分は、合成される一方で常に分解されています。このようなリサイクルによって、生体や細胞は新鮮で健康な状態を保ち、内外のさまざまな変化に柔軟に対応しています。本研究では、細胞内大規模分解システムであるオートファジー(自食作用)の研究を通じて、細胞内の自己タンパク質や

小器官を分解することの生物学的な意義を明らかにし、さらにオートファジーを制御している分子群の役割を明らかにすることを目指しています。オートファジーという視点に基づいた分野横断型研究を推進することで、融合的新概念が創出されることが期待されます。

#### オートファジーの分野横断型研究

- 代謝学(自己分解による飢餓適応)
- 発生学(初期胚の栄養獲得)
- 神経化学(細胞内浄化による変性抑制)
- 免疫学(細胞内抗原提示)
- 感染学(細胞内細菌分解)
- 抗加齢医学(終末分化細胞の恒常性)
- 腫瘍医学(抗腫瘍効果)
- 脂肪細胞分化



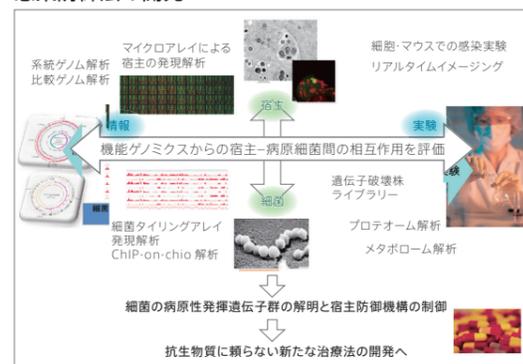
### 病原性細菌のゲノム情報を応用した細菌感染特異的オートファジー誘導による感染防御法の開発

取組責任者:大学院医歯学総合研究科 中川一路 教授

近年、地球環境や社会生活の変化により、未知の感染症や抗生物質が効かない新型耐性菌の出現など新たな感染症の脅威が拡大しています。このような感染症の予防・治療は、従来の方策では対応できません。本研究では、生体内で病原性を発揮するのに必要な「遺伝子群」を明らかにすること、それに応じて反応する宿主の細菌を排除する機構を人為的に制御可能にすることを目標としています。

細菌は常に病原性を発揮しているわけではなく、生体内の環境を感知してその威力を発揮しています。この研究では、生命の設計図であるゲノム情報を用いて、細菌の病原性を発揮する機構を明らかにし、また生体内で菌という異物を認識して排除するシステムを効率的に制御可能にすることに特色があります。

#### 病原性細菌のゲノム情報を応用した細菌感染特異的オートファジー誘導による感染防御法の開発



### 看護卒後教育による mid-level provider 育成と医療提供イノベーション

取組責任者:大学院保健衛生学研究科 井上 智子 教授

生活習慣病の増加や医師不足・偏在など、我が国の医療を取り巻く状況は、早急な問題解決が迫られています。mid-level provider とは、医師から独立して活動できる各種の医療専門職で、海外では看護師への大学院教育による advanced practice nurse (APN: 高度実践看護師)、nurse practitioner (NP) など、多くの職種が活躍しています。本課題では、我が国での高度実践看護職育成と新たな医療システム提言に向けて、関係諸機関とも継続的な検討を重ね、我が国に適した mid-

level provider (高度実践看護師)の役割・機能を明確にするとともに、その教育プログラムを開発します。そして現行法下で活躍する大学院修了による専門看護師に対し、海外協力大学との提携による on demand による講義と、Train-the-Trainers Approach法による少人数演習とを組み合わせ教育を実施し、新たなチーム医療のあり方の追求と産業創出に向けた提言を目指します。



高機能シミュレータによる技術演習風景



講師派遣大学の学部長と

### 組織幹細胞に着目した毛包の組織老化メカニズムの解明

事業推進責任者:難治疾患研究所 西村 栄美 教授

高齢化社会を迎え、加齢に伴って増加する癌やその他の多くの疾患の治療および予防が大きな課題となっています。しかし、発症に至るまでの長い期間に潜在的に進行する組織や臓器の加齢変化については理解が遅れており、疾患発症への関与についてその詳細は明らかにされていません。そのような背景において、我々は、毛の色素をつくる細胞である色素細胞の供給源となる細胞として“色素幹細胞”をはじめ毛根内に同定し、次いで加齢に伴ってこの細胞が自己複製できなくなり枯渇することで白髪という典型的な老化形質を発現するようになることを明らかにしてきました。マウス毛包の幹細胞システムは、ヒトのそれとよく似ており、幹細胞やその周囲の微小環境の研究において格好のシステムであり、組織の老化や癌の研究においても有効です。そこで、毛包という皮膚の小器官をモデルとしてとりあげ、組織幹細胞やその微小環境の加齢変化の解析を中心にアプローチし、加齢に抗して幹細胞を維持する仕組み、および組織の老化と癌の発生に至る仕組みを解明することを目指します。将来的には加齢に伴って罹患しやすくなる難治性疾患の予防や治療へと役立つことを目指しています。



『放射線照射によるマウス体毛の白毛化』



『加齢によるマウス体毛および髭の白毛化と脱毛』

## 特別経費

Special Funds

特別経費は新たな教育研究ニーズに対応し各国立大学等の個性や特色に応じた意欲的な取組み等への支援を目的とします。

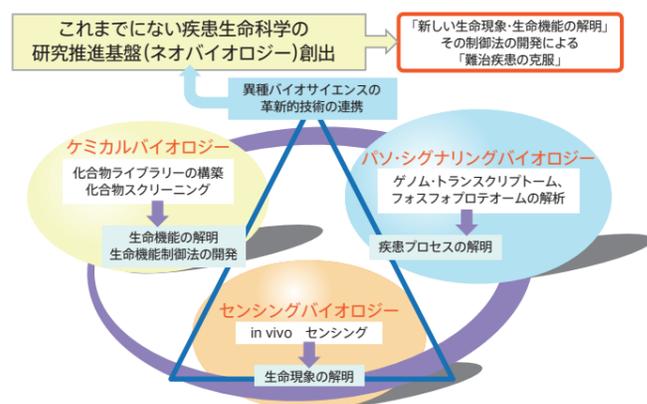
### 異種バイオサイエンス技術の連携によるネオバイオロジー推進基盤創出事業

取組責任者: 難治疾患研究所 三木 義男 教授

多様な生命機能を解明し、その制御による疾患の新規治療法開発のためには、「生体分子」、「細胞」から「個体」に至る幅広い視点で革新的技術により生命科学を追究することが必要です。そこで、これまで各々独自で構築を進めてきた異なる3種のバイオサイエンス基盤技術(パソ・シグナリングバイオロジー、ケミカルバイオロジー、センシングバイオロジー)を連携・融合させ、新たな生命科学領域(ネオバイオロジー)研究の推進基盤を創出するとともに、それらを駆使することによって生命機能の解明とその制御法の開発を目指す新たな「ネオバイオロジー

推進プロジェクト」がスタートいたします。生命体のシグナル異常の解析を基軸に難治病態の解明を目指すパソ・シグナリングバイオロジー、有用化合物を同定しその化合物を利用して生命機能の解明や生命機能制御法の開発を行うケミカルバイオロジー、総合的なin vivoセンシング技術を結集・組織化し、生命現象や難治疾患、健康科学に貢献するセンシングバイオロジーを連携、融合的に発展させ、世界のニーズにこたえるためこれまでにないネオバイオロジーを創製し、生命現象の解明や難治疾患研究への応用を目指します。

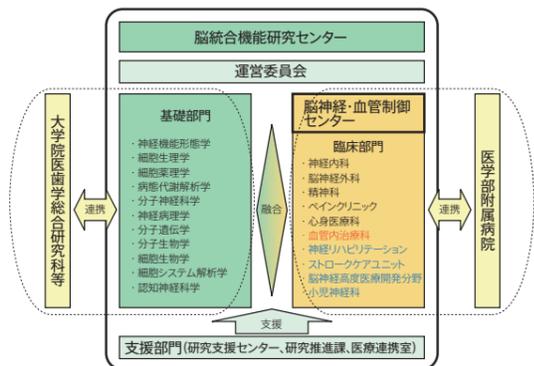
異種バイオサイエンス技術の連携によるネオバイオロジー推進基盤創出事業



### 脳神経・血管制御センターの整備

取組責任者: 脳統合機能研究センター長 水澤 英洋 教授

本学は、脳科学・脳神経疾患領域において、先端を拓く伝統があり、21世紀COEプログラム「脳の機能統合とその失調」の成功を経て「脳統合機能研究センター (Center for Brain Integration Research: CBIR)」を設立、2009年にはその臨床部門としての「脳神経・血管制御センター」が発足した。CBIRは、世界の脳神経疾患克服のニーズに応えるため、本学における脳神経科学の基盤と新たな戦略を融合的に発展させた、脳・神経・脊髄・精神疾患の高度先進医療の研究・教育を実践する拠点であり、脳神経血管制御センターはその中核を担うこととなる。



## 脳科学研究戦略推進プログラム 課題E「心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子」

Field E "Understanding of molecular and environmental bases for brain health"

高齢化、多様化、複雑化が進む現代社会が直面する様々な課題の克服に向けて、脳科学に対する社会からの期待が高まっている。このような状況を踏まえ、『社会に貢献する脳科学』の実現を目指し、社会への応用を明確に見据えた脳科学研究を戦略的に推進するため、脳科学委員会における議論を踏まえ、重点的に推進すべき政策課題を設定し、その課題解決に向けて、研究開発拠点等を整備する。特に、課題Eでは心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子をテーマとして取り組む。

### 生涯に亘って心身の健康を支える脳の分子基盤、環境因子、その失調の解明

拠点長: 大学院医歯学総合研究科 水澤 英洋 教授

少子高齢化社会を迎える我が国にとって、経済的・社会的活力を維持するためには、小児期・成人期・老年期に亘り、脳が健全に機能することが必要である。本研究では、以下の3つの班を構成し、脳の健康を脅かす外的要因である環境因子と内的要因である脳の健康維持の分子基盤の相互作用を体系的に解明し、生涯に亘る脳の健康維持機構への戦略を探る。

包括的な解析を行う。

#### 「活力ある暮らし」班

うつ病、睡眠障害、摂食障害などの発症に関わる分子基盤を検索すると共に、夜型社会などの環境ストレスが、心身の恒常性を破綻させる機構についても分子レベルで解明する。

#### 「健やかな育ち」班

発達障害などと関連する大脳新皮質・海馬・扁桃体・視床・視床下部の形成機序を解明し、モデルマウスを作製して、その表現型、分子病態、環境要因の影響などを解析することにより、各脳部位の形成障害がどのような脳高次機能の異常をもたらすか

#### 「元気な老い」班

大・小脳の正常加齢とアルツハイマー病や脊髄小脳失調症など病的状態において、遺伝的背景と環境要因の関与を解明する。特に生活習慣病がこれらの神経変性疾患に及ぼす影響をきちんと評価する。

I. 「健やかな育ち」班	II. 「活力のある暮らし」班	III. 「元気な老い」班
脳発生・発達における健康逸脱機序	心身の恒常性破綻の機序	脳の病的老化の機序
・東京医科歯科大学(田中) ・慶応大学(仲嶋) ・理化学研究所BSI(下郡) ・国立精神神経医療 研究センター(稲垣)	・国立精神神経医療研究センター(功刀, 三島) ・自治医科大学(矢田)	・東京医科歯科大学(水澤, 岡澤) ・東京大学(岩坪, 一橋) ・理化学研究所BSI(真名)



## 特色ある教育・研究一覧

[ 戦略的創造研究事業 JST(CREST) ]

### 新たなアレルギー発症機構の解明とその制御

大学院医歯学総合研究科 鳥山 一 教授

21-25年度

### シナプス・グリア-D-セリン系の分子機構解明と統合失調症における病態解析および修復法創出

大学院医歯学総合研究科 西川 徹 教授

21-23年度

[ 戦略的創造研究事業 JST(CREST) ]

### プルキンエ細胞変性の分子病態に基づく診断・治療の開発

大学院医歯学総合研究科 水澤 英洋 教授

21-25年度

[ 戦略的創造研究推進事業 (ERATO) ]

### 高柳オステオネットワークプロジェクト

大学院医歯学総合研究科 高柳 広 教授

21-26年度

## 国際交流

International Exchange

2009年4月1日、本学ではこれまでの「留学生センター」を改組し、新たに「国際交流センター」をスタートさせました。これまで、多くの学術・学生交流協定が締結されてきましたが、それらは各部署単位で実施されていたためトータルな情報把握が十分ではない点もあり、本学の国際交流を一括して管理することを始めました。本学へ理解があり、母国の医療界で活躍している留学生との繋がりは、本学にとって貴重な財産です。しかし、残念ながら帰国留学生との連絡が途絶えているケースがあります。そこで今後は、留学生に関するデータを一括管理し、彼らとの交流を継続させることによって、本学の国際化推進のサポーターと位置づけ彼らから本学の教育研究における課題を

学び、教育研究のさらなる向上を図ります。また、これからは留学生が来るのを待つだけでなく、世界中から優秀な人材を積極的に獲得することも必要です。そのために新たな試みとして、2009年より国際サマープログラムを開催しています。留学前に十分な情報を与えられ留学してきた学生は満足度も高いため、事前の情報提供や適切な受入分野への橋渡し、留学中の相談サービス、留学後のフォローとさらに一貫した支援システムの構築をすすめます。2010年12月には1号館西4Fに移転し、新たな挑戦をする「国際交流センター」に学内外から大きな期待が寄せられています。

## ガーナ・野口記念医学研究所共同研究センター

次世代の野口英世たちを育成する場として

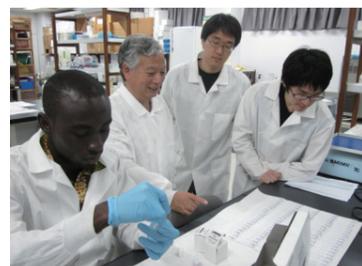
Ghana-Tokyo Medical and Dental University Research Collaboration Program

ガーナ大学野口記念医学研究所(野口研)と本学の教育・研究交流を目的とした共同研究センターを設置して3年が経過しました。この間、研究環境整備を図って共同研究を進めた他、相互交流を核とした人材育成の推進など、本学の国際交流活動の中核の一つに位置付けられるようになりました。現在はウイルス学と寄生虫学の教員2名を野口研に派遣しています。ウイルス学研究ではHIVを取り上げ、WHOが主導する治療薬の評価や薬剤耐性出現をモニターする他に、HIVの分子進化機構をア

フリカ大陸内のHIV株間比較を通じて研究しています。寄生虫学ではアフリカトリパノソーマ症の新規治療薬標的の解析、西アフリカ地域の寄生虫病疫学データベース構築などに取り組んでいます。平成22年度から医学科4年生のプロジェクトセメスターとして野口研での研修が実現しました。短期間ですが熱帯地域での研究の実施やガーナの医療事情体験などを通じて、本学のミッションの一つ「国際性豊かな医療人の養成」への貢献を目指しています。



東京医科歯科大学・ガーナ大学野口研共同研究センター



医学科4年生の野口研における研修



学長主催晩餐会にて、(左から)森口文部科学審議官、ポール・ボアチガーナ教育省副大臣、片上特命全権大使、C.N.B. テーゴガーナ大学副学長、大山学長(2009年8月)

## チリ国におけるラテンアメリカ共同研究拠点の形成

大腸癌の早期発見・治療を目指すチリ国家プロジェクトへの参画

Latin American Collaborative Research Center(LACRC), Santiago, Chile

大腸癌死亡率の急激な増加に悩むチリ国の国家的問題に取り組むクリニカ・ラス・コンデス(チリ国病院)と、大腸癌に関する臨床・科学・学術協力で協力体制を構築するため協議し、2009年7月15日チリ国保健省並びにクリニカ・ラス・コンデスと協定を締結しました。

さらに、中南米地域において広く教育・研究・国際貢献を展開する目的で2010年4月、チリに研究拠点を開設しました。

当該研究拠点での活動の第一の目的は、チリ国及び中南米諸国における大腸癌死亡率低下にあります。本学は15年間にわたり中南米諸国に「大腸癌早期発見と診断・治療法」の普及に努めた経験があり、チリ国最先端病院であるクリニカ・ラス・コンデスが今後五カ年で計画している集団検診プログラム「早期大腸癌診断と治療」に対する指導・教育・研究に協力します。第二の目的は、集団検診を通じて得た研究試料及び新たな研究課題等について、早期癌病理組織診断等の臨床研究から、遺伝子解析といった基礎医学研究をも含めた横断的な研究を行い、癌研究の更なる発展を目指しています。



協定書に調印する大山 喬史学長(左)、Sr. Alfredo Schonherr【CLCのCEO】(中央)、Dr. Julio Montt Vidal, Ministry of Health, Undersecretary of Health Care Networks【チリ国保健省ヘルスケアネットワーク課次官】(右)

## タイにおける拠点形成

「チュラロンコーン大学—東京医科歯科大学研究教育協力センター」開所式

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center

2010年11月23日、「チュラロンコーン大学—東京医科歯科大学研究教育協力センター」の開所式が、両大学関係者や招待者のもと執り行われました。センターの設置経緯の紹介後、チュラロンコーン大学の Pirom Kamolratanalul学長および大山学長のご挨拶に引き続き、来賓として在タイ日本国大使館・小島特命全権大使、タイ国日本人会・大橋会長、本学同窓生代表 Sucontta Chareonvit先生よりご祝辞をいただきました。式典には、タイの他大学の歯学部長、日本とタイの政府関係者、日本人商工会議所、日本学術振興会、JICAなどの関係者、さらに本学で学位を取得した元留学生で、現在チュラロンコーン大学歯学部の教員となっている20名以上の同窓生も参加しました。センターの部屋の前で両学長によるテープカットを行い、その後、参加者はセンター内を見学しました。CU-TMDUセンターは東南アジア地域における本学の最初の海外拠点です。本センター

は東南アジア地域において国際医療ネットワークの構築、また、医歯学領域の研究・教育拠点となることが期待されています。



開所式におけるPirom Kamolratanalul学長と大山学長によるテープカット



チュラロンコーン大学歯学部教員となっている元留学生

世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成

## パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携

Tokyo Medical and Dental University and Partners Harvard Medical International, Inc. Alliance for Medical Education

本学では、平成14年度にHMI(ハーバード・メディカル・インターナショナル、平成20年からPHMI/パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナル)との医学教育提携契約を締結しました。この提携は、世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成するとともに、世界をリードする医学・歯学研究者を養成することを目標としています。

現在、世界最先端の医学教育方法の研究及び研修のために、ハーバード大学教員を本学へ招聘するばかりでなく、多数の本学教員をハーバード大学に派遣し、教育研修を実施し、着実に成果を上げています。

また、この教育連携の大きな特色としては、本学医学部医学科の正規のカリキュラムとして、「ハーバード大学の学生と共に学ぶ臨床実習」が選択コースとして設定されており、年々充実を図り、過去7年間で48名の学生が参加し、大きな成果を上げています。

更には、本提携の高い評価により、平成17年度には、特別教育研究経費「国際性豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成」が措置され、カリキュラム改革等の推進に積極的に取り組んでいます。

また、本年度、PHMIとの教育提携が9周年を迎えました。

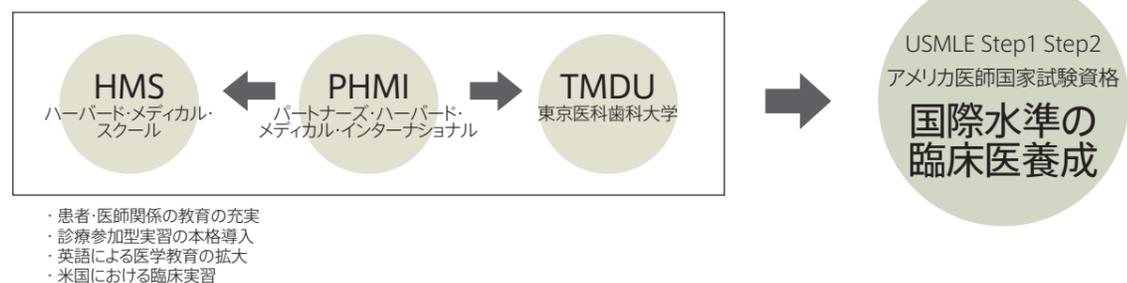
本提携は広範囲におよび、学生派遣(6年次3ヶ月の臨床実習、

来年度8名予定)のほか、下記のような活動を行っています。

- ①テレビ会議  
(カリキュラム改革案についてテレビ会議システムを利用して米国PHMIと協議を継続し、その実施経過を逐次検討)、
- ②教育リーダー派遣調査および協議  
〔医学部89名、歯学部21名、教養部3名、期間5-10日間(平成14年度～平成22年度実績)〕
- および
- ③HMS教員を招聘した教員研修会  
(全学規模で平成12年より5回、医学科のみ平成13年より12回延べ1176人参加)が実施されています。

このような多段階、多様な提携の結果、本学のカリキュラムは様変わりし、最終段階としてクリニカルクラークシップの改革が今始まっています。この改革には、ハーバードに派遣された教員のみならず学生、その後本学の研修医となっている卒業生の意見を反映させながら、英米では長い歴史を持つものが国では形式に止まっている診療チームの一翼を担う臨床実習の「真の実現」を目指し準備が進められています。

### ■概念図



世界トップレベルの医師を育成するために

## インペリアルカレッジとの交換留学プログラム

Student exchange programme between Faculty of Medicine, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University and Faculty of Medicine, Imperial College of Science Technology and Medicine

本学では、平成16年度にインペリアルカレッジとの交換留学プログラムを開始しました。本プログラムは、交換留学協定に基づく留学のため、単位は互換であり、双方の授業料は免除され、宿泊施設も提供されます。学生は留学生活においてインペリアルの学生や教員、研究者からきめ細やかなサポートを受けることができます。本プログラムを開始してから6年余りになりますが、貴重な体験が得られるという評価が定着し、双方の大学において人気プログラムとなっています。

インペリアルカレッジはロンドンのサウスケンジントンにある大学です。1907年に創設の医学部、工学部、生命科学部、物理学部の4学部で構成されており、これに加えてビジネススクールも併設されています。英国内での大学ランキングでは3位(時に2位あるいは4位のこともある)、全世界でもトップ10の常連に位置する非常に優秀な大学です。

### 【留学状況】

①本学からインペリアルカレッジへの留学  
医学科4年生のプロジェクトセメスターの期間(10月～2月末)、毎年4名程度延べ24名が留学しています。具体的には、インペリアルカレッジから本学学生のために用意された12～24程度の研究課題の中から興味のある課題を選択し、指導教員の下、実際の医学研究に従事します。今年度に関しては過去の学生の

希望を活かし1～4箇所の関連病院見学、およびプロジェクトに関連した10ほどの講義をインペリアルカレッジの学生と聴講する機会が予定されています。リサーチの基本的な考え方、必要な情報の集め方、論理的・科学的思考など学問に対するアプローチが修得できること、そして異なるバックグラウンドを持つ指導教員や研究室のメンバーとの関係の構築、および英語による筋道だった議論・論述能力の養成など日本にはなかなか得られない経験ができるまたとない機会となっています。

### ②インペリアルカレッジから本学への留学

インペリアルカレッジではカリキュラムの一環として3ヶ月間の研究期間が設けられており、その研究プロジェクトの1つに本交換留学プログラムもあります。実績としてはBScコースの一環として医学部4年生が2月中旬より3ヶ月に渡り、毎年4名程度、延べ28名を受け入れています。インペリアルカレッジの学生も本学の医歯学総合研究科の約20分野が各々1～3課題ずつ提供する研究課題の中から興味のある課題を選択して医学研究に従事することになります。インペリアルの学生にとっては本プロジェクト内において研究活動の技術を学ぶだけでなく、お花見や古都巡り等様々な日本文化に囲まれた非常に充実した体験プログラムとして人気を集めています。



左上：平成22年度受入学生及び指導教員／左下：大山学長と平成22年度受入学生／右上：平成22年度派遣学生／右下：平成22年度派遣学生

# パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナルとの医学教育提携

国名・地域等	法人名
アメリカ合衆国	ハーバード・メディカル・インターナショナル ※ ※2008年からPHMI / パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナル

## 国際交流協定校 / 学部等間協定

### 大学院医歯学総合研究科(医学系)・大学院保健衛生学研究科・医学部

国名・地域等	大学名	国名・地域等	大学名
フィンランド共和国	セイナヨキ応用科学大学 / タンペレ大学看護学科	タイ王国	チュラロンコン大学医学部
アメリカ合衆国	ワシントン大学看護学部 / コロラド大学デンバー校看護学部	ガーナ共和国	ガーナ大学野口記念医学研究所
イギリス	インペリアル・カレッジ医学部 / シェフィールド大学看護・助産学科	台湾	国立陽明大学
		中国	天津医科大学

### 大学院医歯学総合研究科(歯学系)・歯学部

国名・地域等	大学名	国名・地域等	大学名
大韓民国	ソウル大学校歯科大学 / 慶北大学校歯科大学 / 全南大学校歯学部	ベトナム社会主義共和国	ホーチミン医科薬科大学歯学部 / ハノイ歯科大学
タイ王国	チュラロンコン大学歯学部 / マヒドン大学歯学部 / チェンマイ大学歯学部 / ソンクラ王子大学歯学部 / コンケン大学歯学部 / ナレスワン大学歯学部 / シーナカリンウィロット大学歯学部	モンゴル国	モンゴル健康科学大学歯学部
中華人民共和国	吉林大學口腔医学院 / 大連医科大学口腔医学院 / 北京大学口腔医学院 / 首都医科大学歯学部 / 同済大学口腔医学院 / 内蒙古医学院	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学歯学部
台湾	台北医学大学口腔医学院 / 国立台湾大学医学部歯学科 / 高雄医学大学口腔医学院	カンボジア王国	カンボジア健康科学大学歯学部
インドネシア共和国	インドネシア大学歯学部	ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学医学部歯学科
シンガポール共和国	シンガポール大学歯学部	フィリピン共和国	フィリピン大学マニラ校歯学部
マレーシア	マラヤ大学歯学部	イギリス	キングスカレッジロンドン歯学部
デンマーク王国	コペンハーゲン大学健康科学部歯学科	ドイツ連邦共和国	チャリテールベルリン医学大学
ミャンマー連邦	ヤンゴン歯科大学	チェコ共和国	マサリク大学医学部口腔科学科
		アメリカ合衆国	ペンシルベニア大学歯学部 / ハーバード大学歯学部 / ノースカロライナ大学歯学部 / カリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部
		カナダ	マギル大学歯学部
		オーストラリア	メルボルン大学健康科学部歯学科

### 生体材料工学研究所

国名・地域等	大学名	国名・地域等	大学名
イギリス	ストラスクライド大学バイオエンジニアリングユニット / ロンドン大学クイーンメアリー・アンド・ウエストフィールド校生体医用材料総合研究センター	ポーランド共和国	ポーランド科学アカデミー・バイオサイバネティクス・生体工学研究所ならびにバイオサイバネティクス国際センター
スウェーデン王国	リンシェーピング大学医用生体工学科	大韓民国	慶北大学校生体材料研究所
		中華人民共和国	北京大学口腔医学院

### 難治疾患研究所

国名・地域等	大学名
シンガポール共和国	国立シンガポール大学腫瘍研究所
アメリカ合衆国	マサチューセッツ総合病院
タイ王国	チュラロンコン大学歯学部
フランス共和国	リヨン高等師範学校

### 大学院生命情報科学教育部・大学院疾患生命科学研究所・難治疾患研究所

国名・地域等	大学名
ポーランド共和国	グダニスク医科大学
ドイツ連邦共和国	ドイツリウマチ疾患研究センター、フンボルト大学
中華人民共和国	北京大学医学部基礎医学院、中国医科大学
ベトナム社会主義共和国	ハノイ医科大学

# 外国人留学生在籍者数

平成23年5月1日現在 (May1, 2011)

国名・地域等	大学院学生			学部学生		専攻生						日本語研修生	小計		計							
	医歯学総合研究科	保健衛生学研究科	生命情報科学教育部	医学部	歯学部	医学部	歯学部	生体材料工学研究所	難治疾患研究所	国際交流センター	国費	私費										
韓国	2		1				1				0	4	4									
中国	5	59	5	11	3	2	3	2		2	10	82	92									
モンゴル	2		1				1				0	4	4									
フィリピン	2										1	3	0	3								
インドネシア	5										1	6	0	6								
シンガポール			1								1	0	1	1								
ヴェトナム	3		1								3	1	4	4								
ラオス	1										1	0	1	1								
カンボディア	2										1	3	0	3	3							
マレーシア	1		1								1	1	2	2								
タイ	16	2			1			1			1	18	3	21	21							
ミャンマー	4		1								1	1	5	6	6							
ネパール	1		2								0	3	3	3	3							
バングラデシュ	9	7									9	7	16	16	16							
インド	3	6									3	6	9	9	9							
スリランカ	4	1									4	1	5	5	5							
パキスタン			1								1	0	1	1	1							
イラン	1	2	1								2	2	4	4	4							
イラク	1	1									1	1	2	2	2							
ヨルダン	4										4	0	4	4	4							
サウジアラビア		3									0	3	3	3	3							
アフガニスタン	1										1	0	1	1	1							
台湾		2									0	2	2	2	2							
スロバキア	1										1	0	1	1	1							
エジプト	2	1									2	1	3	3	3							
タンザニア	2										2	0	2	2	2							
ガーナ	2										2	0	2	2	2							
カナダ			1								1	0	1	1	1							
ブラジル									1		1	0	1	1	1							
パラグアイ	1										1	0	1	1	1							
ホンジュラス	1										1	0	1	1	1							
ベネズエラ	1										1	0	1	1	1							
フィジー	1										1	0	1	1	1							
小計	68	94	0	0	10	17	1	3	0	2	0	4	0	4	0	0	1	2	5	85	126	211
合計		国費 78	私費 111		国費 1	私費 5		国費 1	私費 10		国費 5											211
				189		6			11		5											

# 統計

Statistics

## 職員数

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

区分	役員	教員				小計	その他職員				計
		教授	准教授	講師	助教		一般職	薬剤師 放射線技師 検査技師等	看護師	小計	
学長	1										1
理事	5										5
監事	2(1)										2(1)
監査室							2			2	2
事務局						156				156	156
大学院医歯学総合研究科		78	51	38	151	318					318
大学院保健衛生学研究所		16	9	2	14	41					41
大学院疾患生命科学研究所		6	5		1	12					12
医学部							67	7		74	74
医学部附属病院		1	7	33	99	140	4	107	689	800	940
歯学部		8	2	8	2	20	25	4		29	49
歯学部附属病院			4	13	22	39		55	56	111	150
教養部		9	8	1	2	20	5			5	25
生体材料工学研究所		10	7	1	15	33	6			6	39
難治疾患研究所		16	22	2	20	60	11			11	71
図書館情報メディア機構		1			1	2	11			11	13
医歯学教育システム研究センター		2	1	1		4					4
医歯学研究支援センター		1	2	1	2	6	2			2	8
実験動物センター		1			2	3					3
国際交流センター			4			4	4			4	8
生命倫理研究センター		1		2	1	4					4
医歯学融合教育支援センター			1	1		2					2
保健管理センター		1	1			2			1	1	3
研究・産学連携推進機構			1			1	8			8	9
脳統合機能研究センター			2			2					2
職員数	8(1)	151	127	103	332	713	301	173	746	1,220	1,941(1)

※ ( )内は非常勤役員を内数で示す。

## 学生数 | 大学院

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

### 医歯学総合研究科

専攻	入学定員	収容定員	修士課程			博士課程					計						
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計							
医歯科学(一般コース)	50	100	52	25	53	30	105	55				105	55				
医歯科学(MMAコース)	15	25	17	6	12	7	29	13				29	13				
口腔機能再構築学系	45	171							51 <3>	28 <7>	62 <5>	30 <24>	56 <26>	219 <18>	108 <18>		
顎顔面頸部機能再建学系	26	116							19 <1>	9 <0>	27 <1>	6 <1>	27 <2>	9 <2>	41 <13>	114 <37>	
生体支持組織学系	15	69							12 <2>	4 <0>	16 <2>	7 <2>	21 <6>	8 <6>	13 <6>	7 <6>	62 <26>
環境社会医歯学系	19	79							31 [5]	12 [5]	20 [5]	9 [5]	17 [5]	6 [5]	40 [20]	16 [20]	108 [43]
老化制御学系	16	46							19	9	13	5	16	6	24	6	72
全人的医療開発学系	9	33							13	9	9	6	1	1	14	7	37
認知行動医学系	17	74							12	5	15	5	13	5	21	4	61
生体環境応答学系	15	66							12	6	16	6	11	6	11	6	50
器官システム制御学系	29	116							39	12	36	9	31	3	50	14	156
先端医療開発学系	23	86							11	4	14	5	23	7	41	15	89
小計	279	981	69	31	65	37	134	68	219	98	228	88	216	77	305	112	968

### 保健衛生学研究所

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計							
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計								
総合保健看護学	前期17 後期8	前期34 後期24	20	16	24	21	44	37	11	9	12	11	34	33		57	53	101
生体検査科学	前期12 後期6	前期24 後期18	13	11	13	5	26	16	6	4	5	3	8	6		19	13	45
小計	前期29 後期14	前期58 後期42	33	27	37	26	70	53	17	13	17	14	42	39		76	66	146

### 生命情報科学教育部

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計							
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計								
バイオ情報学	前期21 後期8	前期42 後期23	22	10	21	8	43	18	12	6	4	2	13	5		29	13	72
高次生命科学	前期24 後期7	前期48 後期20	28	14	28	9	56	23	7	0	16	8	10	6		33	14	89
小計	前期45 後期15	前期90 後期43	50	24	49	17	99	41	19	6	20	10	23	11		62	27	161

合計 (修士課程・博士課程)	入学定員	収容定員	修士課程			博士課程					計								
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計									
	279	981	69	31	65	37	134	68	219	98	228	88	216	77	305	112	968	375	1,102

合計 (博士前期・博士後期)	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程					計							
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計								
	103	233	83	51	86	43	169	94	36	19	37	24	65	50		138	93	307

※注1 赤色は、女子学生を内数で示す。 ※注2 <>内は、先端口腔科学国際プログラム学生を内数で示す。  
 ※注3 [ ]内は、パブリックヘルスリーダー養成特別コース学生を内数で示す。  
 ※注4 ( )内は、生命情報科学国際教育プログラム学生を内数で示す。

総計 1,409 <26> [20] (17) 630

## 学生数 | 学部

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

### 医学部

	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
医学科	100 (5)	525	103 31	97 33	94 [5] 29 [11]	80 [6] 28 [11]	93 [7] 16 [0]	86 [5] 24 [3]	553 [23] 161 [5]
保健衛生学科	看護学専攻	55	60 57	54 50	55 54	55 53			224 214
	検査技術学専攻	35	38 27	35 30	35 28	33 28			141 113
	小計	90	98 84	89 80	90 82	88 81			365 327

### 歯学部

	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
歯学科	53	358	53 25	61 22	56 [1] 23 [11]	57 [7] 28 [4]	70 [8] 30 [6]	63 [11] 33 [10]	360 [27] 161 [21]
口腔保健学科	口腔保健衛生専攻	22 (6)	23 23	28 27	34 [6] 34 [6]	31 [6] 29 [6]			116 [12] 113 [12]
	口腔保健工学専攻	10 (5)	11 4	0 0	0 0	0 0			11 4
小計	32	125	34 27	28 27	34 34	31 29			127 117

合計	入学定員	収容定員	第1	第2	第3	第4	第5	第6	計
	275	1,368	288 167	275 162	274 [12] 168 [8]	256 [19] 166 [11]	163 [15] 46 [6]	149 [16] 57 [13]	1,405 [62] 766 [38]

※注1 赤色は、女子学生を内数で示す。  
 ※注2 < >内は、3年次編入学定員を外数で示す。  
 ※注3 [ ]内は、3年次編入学生を内数で示す。  
 ※注4 ( )内は、2年次編入学生を内数で示す。

### 専攻生

	男	女	計
医学部			
医学科	6	12	18
保健衛生学科	2	10	12
歯学部			
歯学科	102	96	198
口腔保健学科	1	3	4
生体材料工学研究所	4	0	4
難治疾患研究所	4	2	6
合計	119	123	242

## 学位授与数

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

### 課程博士

区分	博士									
	医学	歯学	学術	看護学	保健学	バイオ情報学	高次生命科学	生命情報科学	理学	工学
平成22年度	94	46	14	4	0	0	1	1	15	1
累計	1,726	1,953	129	78	44	1	1	1	57	1

### 論文博士

区分	博士				
	医学	歯学	学術	看護学	保健学
平成22年度	36	23	1	1	1
累計	1,749	507	22	11	13

### 課程修士

区分	修士												
	医科学	歯科学	医療管理学	医療政策学	看護学	保健学	バイオ情報学	高次生命科学	生命情報科学	理学	工学	学術	
平成22年度	45	2	7	9	18	15	4	1	1	35	2	0	
累計	318	9	60	60	258	220	7	2	6	213	2	1	

## 附属教育施設

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

### 生徒数

学校	学年		計
	第1	第2	
歯科技工士学校	0 0	20 9	20 9
歯科技工士学校 (実習科)	9 4	10 6	19 10
計	9 4	30 15	39 19

※注1 赤色は、女子学生を内数で示す。

# 平成23年度科学研究費補助金採択状況

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

研究種目	件数	金額(千円)
特定領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas	9	43,000
挑戦的萌芽研究 Grant-in-Aid for Challenging Exploratory Research	64	120,770
若手研究(A) Grant-in-Aid for Young Scientists(A)	9	89,050
若手研究(B) Grant-in-Aid for Young Scientists(B)	162	275,210
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	41	34,100
基盤研究(S) Grant-in-Aid for Scientific Research(S)	2	115,050
基盤研究(A) Grant-in-Aid for Scientific Research(A)	16	191,620
基盤研究(B) Grant-in-Aid for Scientific Research(B)	52	296,530
基盤研究(C) Grant-in-Aid for Scientific Research(C)	156	240,500
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	13	18,928
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	35	411,970
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	3	1,800
合計 Total	562	1,838,528

※基盤研究(C)、若手研究(B)及び挑戦的萌芽研究は交付内定日が4月28日のため、交付内定件数・金額である。

# 受託研究費等受入状況 (平成22年度)

外部資金区分(受託事業を含む)	件数	金額(千円)
受託(委託)研究費(うち複数年契約によるもの) Entrusted Research	121(36)	1,489,334(395,308)
共同研究費(うち複数年契約によるもの) Cooperative Research	139(75)	354,582(104,949)
奨学寄附金 Donation for Promotion of Learning	813	1,290,589
合計 Total	1,073	3,134,505

※複数年度契約とは、研究期間が平成21年度を含み、2年度以上にまたがるものであり、当該21年度に受け入れた金額(件数も1件としてカウント)を積算したものである。

# 平成23年度厚生労働科学研究費補助金採択状況

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

研究種目	件数	金額(千円)
政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) Research on Policy Planning and Evaluation	2	43,004
政策科学総合研究事業(統計情報総合) Research on Statistics and Information	2	4,504
創薬基盤推進研究事業(政策創薬総合研究事業) Research on Publicly Essential Drugs and Medical Devices	1	4,000
難治性疾患克服 Research on Intractable Diseases	10	205,000
長寿科学総合 Comprehensive Research on Aging and Health	1	24,135
障害者対策総合研究事業 Comprehensive Research on Disability Health and Welfare	3	28,388
地域医療基盤開発推進 Research on Region Medical	5	36,094
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合 Research on Regulatory Science of Pharmaceuticals and Medical Devices	1	5,400
健康安全・危機管理対策総合 Research on Health Security Control	1	4,200
再生医療実用化 Research on Regenerative Medicine for Clinical Application	2	92,950
エイズ対策 Research on HIV/AIDS	2	16,310
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合 Comprehensive Research on Life-Style Related Disease Including Cardiovascular Diseases and Diabetes Mellitus	1	8,534
地球規模保健課題推進 Research on Global Health Issues	1	20,000
免疫アレルギー疾患等予防・治療 Research on Allergic Disease and Immunology	1	39,000
合計 Total	33	531,519

# 寄附講座・寄附研究部門一覧

平成23年5月1日現在 (May 1, 2011)

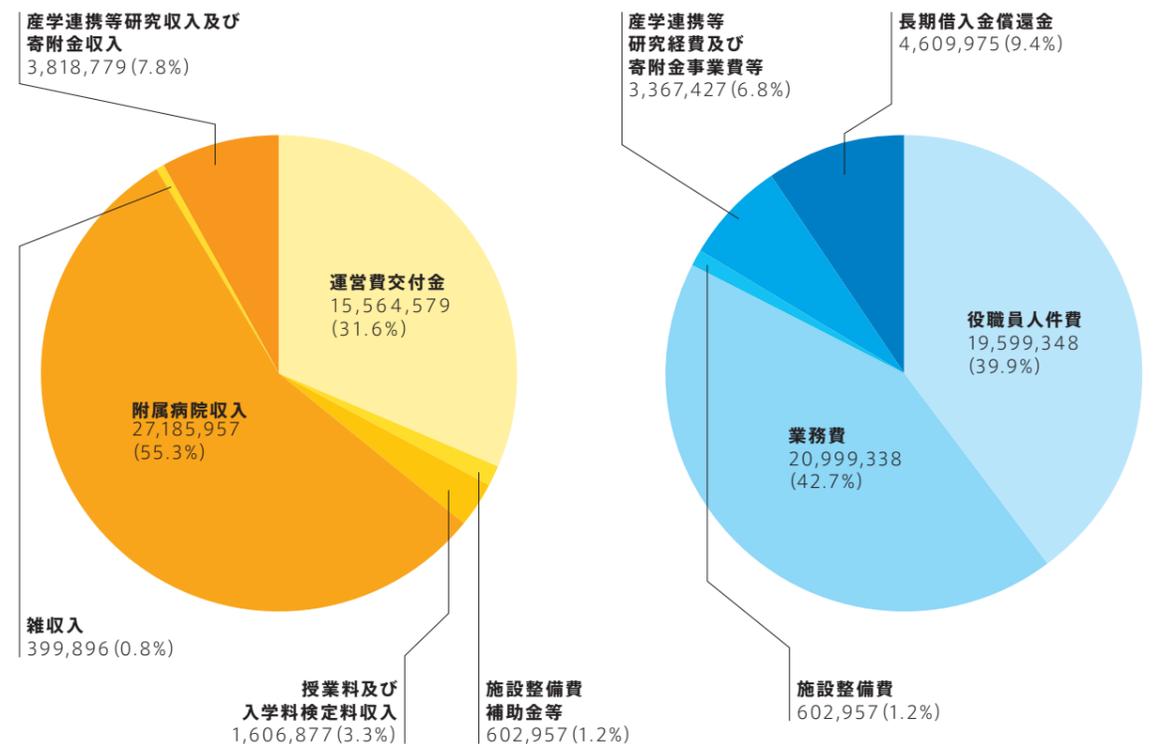
所属局名	寄附講座名・寄附研究部門名	設置期間	寄附者
大学院歯学総合研究科	薬害監視学講座	H17.4.1 - H25.3.31	田辺三菱製薬(株)/ワイス(株)/武田薬品工業(株)/アボットジャパン(株)/エーザイ(株)/中外製薬(株)/プリストルマイヤーズ(株)
大学院歯学総合研究科	ナノメディスン(DNP)講座	H17.4.1 - H25.3.31	大日本印刷(株)
大学院歯学総合研究科	応用腫瘍学講座	H17.10.1 - H23.9.30	大鵬薬品工業(株)
大学院歯学総合研究科	分子肝炎制御学講座	H18.4.1 - H24.3.31	MSD(株)
大学院歯学総合研究科	消化管先端治療学講座	H19.4.1 - H27.3.31	杏林製薬(株)/旭化成クラレメディカル(株)/味の素ファルマ(株)/ユーシービージャパン(株)/大塚製薬(株)/エーザイ(株)/(株)JIMRO/ゼリア新薬工業(株)/田辺三菱製薬(株)/アボットジャパン(株)/協和発酵キリン(株)
大学院歯学総合研究科	整形外科先端治療開発学講座	H19.8.1 - H24.3.31	HOYA(株)/メドトロニックソファモアダネック(株)/日本ストライカー(株)/(株)イトー医科器械/帝人ファーマ(株)
大学院歯学総合研究科	軟骨再生学講座	H18.6.1 - H24.5.31	ジンマー(株)/日本メディカルマテリアル(株)
大学院歯学総合研究科	睡眠制御学講座	H21.6.1 - H24.5.31	フクダ電子(株)/帝人在宅医療(株)/グラクソ・スミスクライン(株)/フィリップス・レスピロニクス合同会社
大学院歯学総合研究科	小児・周産期地域医療学講座	H22.4.1 - H26.3.31	茨城県
大学院歯学総合研究科	東京医科歯科大学地域小児医療調査研究講座(東京都)	H22.4.1 - H25.3.31	東京都
大学院歯学総合研究科	慢性腎臓病病態治療学講座	H22.4.1 - H25.3.31	中外製薬(株)
難治疾患研究所	臓器代謝ネットワーク研究部門	H23.4.1 - H26.3.31	塩野義製薬(株)
大学院歯学総合研究科	関節機能再建学講座	H23.5.1 - H25.4.30	バイオメッド・ジャパン(株)/ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)メディカルカンパニー

# 平成23年度収入・支出予算

単位：千円

収入 総額 49,179,045 千円

支出 総額 49,179,045 千円



# キャンパス概要

Campus and Access

## 湯島地区・駿河台地区

Yushima and Surugadai Campuses

東京都心の歴史ある地域に広がる湯島・駿河台地区。研究棟や附属病院が立ち並ぶキャンパスで、高度な知識と技術を持つ医療人を養成するための専門教育が行われます。



駿河台地区  
Surugadai Campus

湯島地区  
Yushima Campus

国府台地区  
Kounodai Campus

## 国府台地区

Kounodai Campus

すべての学生にとって最初の学舎となる教養部がおかれている国府台地区。東京都に隣接する千葉県市川市にあり、湯島・駿河台地区にも約40分でアクセスできます。



# 土地・建物及び所在地

平成 23 年 5 月 1 日現在 (May 1, 2011)

名称 Name	郵便番号・所在地・電話番号 Zip code / Address / Telephone
<b>湯島地区</b> Yushima Campus 土地：45,115㎡ Grounds(sq. Metre) 建物：247,944㎡ Buildings(sq. Metre)	
名称 Name 事務局 Administration Bureau / 大学院医歯学総合研究科 Graduate School of Medical and Dental Sciences / 大学院保健衛生学研究科 Graduate School of Health Care Sciences / 大学院生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program / 大学院疾患生命科学研究所 Graduate School of Biomedical Science	〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
医学部 Faculty of Medicine / 医学部附属病院 University Hospital of Medicine /	〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
歯学部 Faculty of Dentistry / 歯学部附属病院 University Hospital of Dentistry /	〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
図書館情報メディア機構図書館 Institute for Library and Media information Technology-Library / 医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry / 医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences / 実験動物センター Center for Experimental Animal / 国際交流センター International Exchange Center 生命倫理研究センター Life Sciences and Bioethics Research Center / 医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education / 保健管理センター Health Service Center / スチューデントセンター Student Center / 研究・産学連携推進機構 TMDU Research Organization	〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111
歯学部附属歯科技工士学校 School of Dental Technologists	〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45 5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo 03-3813-6111

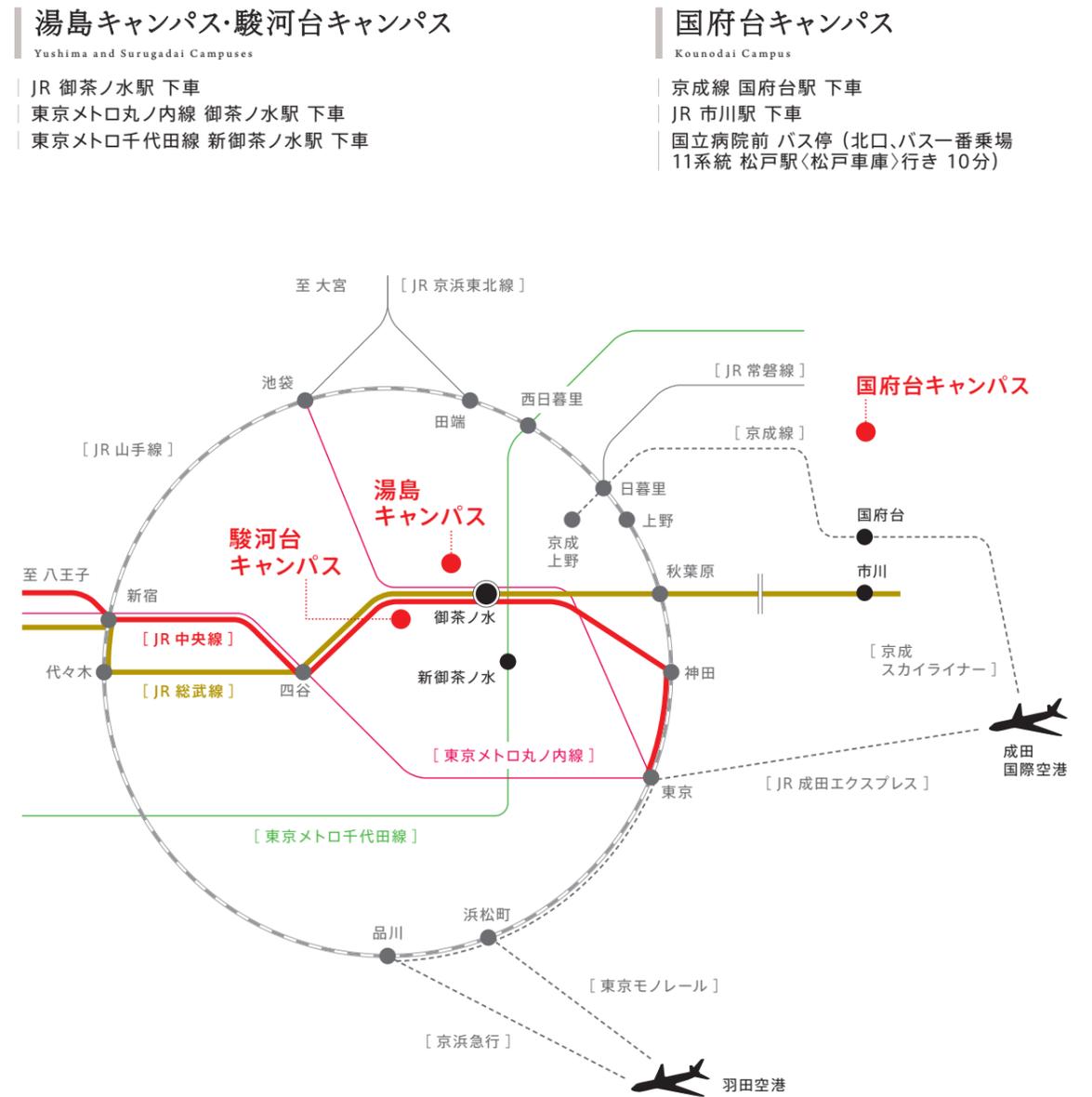
名称 Name	郵便番号・所在地・電話番号 Zip code / Address / Telephone
<b>駿河台地区</b> Surugadai Campus 土地：5,597㎡ Grounds(sq. Metre) 建物：19,912㎡ Buildings(sq. Metre)	
名称 Name 生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10 3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5280-8000
難治疾患研究所 Medical Research Institute	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10 3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo 03-5280-8050

名称 Name	郵便番号・所在地・電話番号 Zip code / Address / Telephone
<b>国府台地区</b> Kounodai Campus 土地：61,287㎡ Grounds(sq. Metre) 建物：13,900㎡ Buildings(sq. Metre)	
名称 Name 教養部 College of Liberal Arts and Sciences / 図書館情報メディア機構図書館国府台分館 Institute for Library and Media information Technology-Kounodai Branch Library / 保健管理センター分室 Health Service Center, Kounodai Branch	〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-30 8-30, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture 047-371-7103
国際交流会館 International House / 国際学生宿舎 International Student House	〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-1 8-1, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture 047-371-7936

名称 Name	所在地 Address	土地 Grounds(sq. Metre)	建物 Buildings(sq. Metre)
戸田地区 Toda Boat-House	埼玉県戸田市戸田公園1-60/60, Todakoen 1 chome, Toda-city, Saitama Prefecture	696 ㎡	479 ㎡
妙高高原地区 Akakura Resort House	新潟県妙高市大字赤倉6120/6120, Akakura, Myoko-city, Niigata Prefecture	1,621 ㎡	434 ㎡
館山地区 Tateyama, Oga-Resort House	千葉県館山市大賀/Oga, Tateyama-city, Chiba Prefecture	4,357 ㎡	834 ㎡
白山宿舎 Hakusan Residence Housing	東京都文京区白山2-36-3/36-3, Hakusan 2 chome, Bunkyo-ku, Tokyo	497 ㎡	91 ㎡
若宮町宿舎 Wakamiyacho Residence Housing	東京都新宿区若宮町26/26, Wakamiya-cho, Shinjuku-ku, Tokyo	995 ㎡	—
塔の山住宅 Tonoyama Residence Housing	東京都中野区中央1-50-3/50-3, Chuo 1 chome, Nakano-ku, Tokyo	1,974 ㎡	1,945 ㎡
越中島住宅 Etchujima Residence Housing	東京都江東区越中島1-3/3, Etchujima 1 chome, Koto-ku, Tokyo	17,967 ㎡	25,480 ㎡
納骨堂 The Ossuary (Nokotsu-do)	千葉県市川市国府台3-10-1/10-1, Kounodai 3 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture	(115 ㎡)	—
<b>計 Total</b>		<b>140,106 ㎡ (115 ㎡)</b>	<b>328,698 ㎡</b>

※ (注) 土地・建物の ( ) 内数字は、借用又は一時使用面積を外数で示す。

# 関係施設位置図



## 成田国際空港より

From Narita Airport

- JR 成田エクスプレス → JR 東京駅 → JR 中央線 → JR 御茶ノ水駅

- 京成スカイライナー → JR 上野駅 → JR 山手線 → JR 秋葉原駅 → JR 総武線 → JR 御茶ノ水駅

## 羽田空港より

From Haneda Airport

- 東京モノレール → JR 浜松町駅 → JR 山手線 → JR 御茶ノ水駅

- 京浜急行 → JR 品川駅 → JR 山手線 → JR 神田駅 → JR 中央線 → JR 御茶ノ水駅